

Dell EMC OpenManage Enterprise Power Manager バージョン 2.0 ユーザーズ ガイド

Identifier	GUID-5B8DE7B7-879F-45A4-88E0-732155904029
Version	15
Status	Translation Validated

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: はじめに : Power Manager.....	6
章 2: 変更履歴.....	7
章 3: 本リリースの新機能.....	8
章 4: 互換性マトリックス.....	9
サポートされているデバイス Power Manager.....	9
サポートされている PDU デバイスの製造元.....	11
ハードウェア要件.....	11
対応プロトコル.....	11
OpenManage Enterprise と互換性のある Power Manager のバージョン.....	12
OpenManage Enterprise のロール ベースと範囲ベースのアクセス制御.....	12
章 5: ライセンス要件.....	16
章 6: 拡張性とパフォーマンス.....	18
章 7: はじめに : Power Manager.....	19
インストール Power Manager.....	19
設定.....	20
へのデバイスの追加 Power Manager.....	22
への静的グループの追加 Power Manager.....	23
章 8: デバイス検出ジョブの作成.....	25
スケジュールジョブフィールドの定義.....	26
SNMP デバイス用のカスタマイズしたデバイス検出ジョブプロトコルの作成.....	26
章 9: Power Manager デバイスの監視および管理.....	27
メトリックの表示とデバイスとグループの履歴の監視.....	28
仮想マシン.....	30
仮想マシンの表示.....	31
しきい値.....	32
アラートしきい値の作成.....	32
ポリシー.....	34
静的ポリシー.....	34
温度でトリガーされるポリシー.....	34
静的ポリシーまたは温度でトリガーされるポリシーの作成.....	34
章 10: ラック管理.....	39
監視対象外デバイスの詳細の追加.....	39
Power Manager 監視対象デバイスのデバイス詳細の追加または編集.....	40
物理グループの作成.....	41

OpenManage Enterprise での物理グループの作成.....	41
物理グループへのデバイスの追加.....	42
CSV ファイルを使用した物理グループの作成.....	43
配電ユニット.....	44
PDU をラックに関連づける.....	44
章 11: 電力削減中のデータ センターの管理.....	46
緊急時の電力削減の有効化.....	46
アクティブな緊急時の電力削減の表示.....	48
緊急時の電力削減の無効化.....	48
章 12: Power Manager データへのクイック アクセス.....	50
Power Manager グループの電力および温度履歴の表示.....	50
エネルギー消費量が多い上位 5 デバイスの表示.....	51
OpenManage Enterprise で検出されたデバイスと追加されているデバイスの比率の表示 Power Manager.....	51
上位 10 件の電力しきい値違反の表示.....	51
上位 10 件の温度しきい値違反の表示.....	52
電力とスペースで使用率の低い上位 10 位のラックの表示.....	53
電力およびスペースのヘッドルームの表示.....	53
章 13: 保守 Power Manager.....	54
Power Manager プラグインの管理.....	54
無効 Power Manager.....	54
有効化 Power Manager.....	55
個々のデバイスと静的グループの管理.....	55
に追加されたデバイスとグループの表示 Power Manager.....	55
デバイスの削除.....	56
グループの削除.....	57
物理グループの管理.....	58
物理グループと階層の表示.....	58
ラックに追加されたデバイスの表示.....	58
物理グループのラックの表示.....	59
物理グループの編集.....	60
物理グループの削除.....	60
デバイスのラック スロットの再配置.....	61
別のラックへのデバイスの移動.....	62
ラックからのデバイスの削除.....	63
アラートしきい値の維持.....	63
アラートのしきい値の表示.....	63
アラートしきい値の編集.....	65
アラートしきい値の削除.....	66
ポリシーのメンテナンス.....	67
ポリシーの表示.....	67
ポリシーの編集.....	67
ポリシーの無効化.....	68
ポリシーの有効化.....	69
ポリシーの削除.....	69
監視されていないデバイスの管理.....	70
詳細の表示 監視されていないデバイス.....	70

監視されていないデバイスの詳細を編集.....	70
削除 監視されていないデバイス.....	71
PDU デバイスの管理.....	71
ラックに関連づけられた PDU を Power Manager で表示.....	71
PDU デバイスの削除.....	72
アンインストール Power Manager.....	73
章 14: アラート.....	74
アラート ポリシーの作成.....	74
章 15: のレポート Power Manager.....	76
カスタムレポートの作成.....	76
レポートの表示とダウンロード.....	77
章 16: アップデート Power Manager.....	79
Power Manager の更新用に OpenManage Enterprise を構成する.....	79
アップグレード Power Manager.....	80
章 17: よくあるお問い合わせ (FAQ)	81
章 18: トラブルシューティング.....	88
章 19: 付録.....	91
章 20: その他の情報.....	92

Identifier	GUID-D237B6CF-88A5-419A-8E5E-9E10A62ECD73
Version	4
Status	Translation approved

はじめに : Power Manager

Dell EMC OpenManage Enterprise Power Manager は、Dell EMC OpenManage Enterprise (OME)コンソールへのプラグインであり、きめ細かいインストールメンテナーションを使用して、Dell EMC サーバーの電力消費、システム異常、およびリソース使用率の可視性を高めます。また、Power Manager は、仮想マシンの監視をサポートし、サーバー、シャーシ、およびサーバーとシャーシで構成されるカスタム グループの電力および温度イベントに関するアラートとレポートを提供します。レポートを作成することで、制御の向上、迅速なレスポンス タイム、高精度、および幅広い意思決定を支えるインテリジェンスが実現します。

iDRAC Enterprise または iDRAC Datacenter ライセンス、あるいは対応シャーシと OpenManage Enterprise Advanced ライセンスを持つ PowerEdge サーバーまたはモジュラー型システムと併用することで、Power Manager は、OME コンソールからの情報を活用し、プラットフォームレベルの電源レポートを作成します。Power Manager 次に、それぞれの管理対象デバイスで Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC)または Chassis Management Controller (CMC)と通信することで、電源管理データを提供して制御ポリシーを実行します。これにより、管理者は効率を高め、無駄なコストを削減できる領域を特定することができます。また、Power Manager は、PDU ファームウェアと通信することにより、配電ユニット (PDU)の電力負荷の監視と管理をサポートします。

Identifier	GUID-064921E8-63AD-4E9A-BA31-0CD000F98C67
Version	1
Status	Translation approved

変更履歴

表 1. ドキュメントの変更履歴

日付	ドキュメントのバージョン	変更の説明
2021 年 6 月	A00	ドキュメントのイニシャル リリース。
2021 年 7 月	A01	• OpenManage Enterprise の互換バージョンを更新しました。 • iDRAC のバージョンの制限が削除されました。

Identifier	GUID-64B233E0-F365-4B19-ADA0-B24E42E07DE6
Version	3
Status	Translation approved

本リリースの新機能

- 配電ユニット(PDU)デバイスの監視のサポート。
- OpenManage Enterprise で検出され、Power Manager に追加されたハイパーバイザーでホストされている仮想マシン(VM)の監視のサポート。
- [Power manager:] Power Manager で監視されている VM の詳細を表示するために統合された仮想マシン パフォーマンス レポート。
- サーバー、PDU、仮想マシン、および 500 グループ (静的および物理) を含む 8000 デバイスの監視のサポート。
- セキュリティを強化するスコープ ベースのアクセス制御(SBAC)機能のサポート。
- Redfish テレメトリー プロトコルを介してデータを収集するためのサーバーとの通信のサポート。
- CSV ファイルをインポートして物理グループを作成するためのサポート。

Identifier	GUID-90BFECFAA-FD5A-4E21-9177-D9E962479FD1
Version	1
Status	Translation Validated

互換性マトリックス

トピック：

- サポートされているデバイス Power Manager
- 対応プロトコル
- OpenManage Enterprise と互換性のある Power Manager のバージョン
- OpenManage Enterprise のロール ベースと範囲ベースのアクセス制御

Identifier	GUID-84768709-1B7B-462E-8D45-B9CE01A90CB4
Version	31
Status	Translation approved

サポートされているデバイス Power Manager

Power Manager は、以下にリストした Dell EMC PowerEdge サーバーおよびシャーシをサポートしています。

表 2. 対応サーバーおよびシャーシ モデル

カテゴリ	モデル
サーバー	• Dell EMC VxRail E460 • Dell EMC VxRail E460F • Dell EMC VxRail E560 • Dell EMC VxRail E560F • Dell EMC VxRail E560N • Dell EMC VxRail P470 • Dell EMC VxRail P470F • Dell EMC VxRail P570 • Dell EMC VxRail P570F • Dell EMC VxRail P580N • Dell EMC VxRail S470 • Dell EMC VxRail S570 • Dell EMC VxRail V470 • Dell EMC VxRail V470F • Dell EMC VxRail V570 • Dell EMC VxRail V570F • Dell EMC PowerEdge R320 • Dell EMC PowerEdge R330 • Dell EMC PowerEdge R340 • Dell EMC PowerEdge R420 • Dell EMC PowerEdge R430 • Dell EMC PowerEdge R440 • Dell EMC PowerEdge R520 • Dell EMC PowerEdge R530 • Dell EMC PowerEdge R530XD • Dell EMC PowerEdge R540 • Dell EMC PowerEdge R620 • Dell EMC PowerEdge R630

表 2. 対応サーバーおよびシャーシ モデル (続き)

カテゴリ	モデル
	• Dell EMC PowerEdge R640 • Dell EMC PowerEdge R6415 • Dell EMC PowerEdge R650 • Dell EMC PowerEdge R6515 • Dell EMC PowerEdge R6525 • Dell EMC PowerEdge R720 • Dell EMC PowerEdge R720xd • Dell EMC PowerEdge R730 • Dell EMC PowerEdge R730Xd • Dell EMC PowerEdge R740 • Dell EMC PowerEdge R740XD • Dell EMC PowerEdge R740xd2 • Dell EMC PowerEdge R7415 • Dell EMC PowerEdge R7425 • Dell EMC PowerEdge R750 • Dell EMC PowerEdge R750 XA • Dell EMC PowerEdge R7515 • Dell EMC PowerEdge R7525 • Dell EMC PowerEdge R820 • Dell EMC PowerEdge R830 • Dell EMC PowerEdge R840 • Dell EMC PowerEdge R920 • Dell EMC PowerEdge R930 • Dell EMC PowerEdge R940 • Dell EMC PowerEdge R940xa • Dell EMC PowerEdge M620 • Dell EMC PowerEdge M520 • Dell EMC PowerEdge M630 • Dell EMC PowerEdge M640 • Dell EMC PowerEdge M830 • Dell EMC PowerEdge T320 • Dell EMC PowerEdge T330 • Dell EMC PowerEdge T340 • Dell EMC PowerEdge T420 • Dell EMC PowerEdge T620 • Dell EMC PowerEdge T430 • Dell EMC PowerEdge T440 • Dell EMC PowerEdge T630 • Dell EMC PowerEdge FC430 • Dell EMC PowerEdge FC630 • Dell EMC PowerEdge FC640 • Dell EMC PowerEdge FC830 • Dell EMC PowerEdge C6320 • Dell EMC PowerEdge C6320p • Dell EMC PowerEdge C6420 • Dell EMC PowerEdge C6525 • Dell EMC PowerEdge MX740C • Dell EMC PowerEdge MX840C • Dell EMC PowerEdge XE2420 • Dell EMC PowerEdge XE7420 • Dell EMC PowerEdge XE7440 • Dell EMC PowerEdge XE8545
シャーシ	• Dell EMC PowerEdge M1000e

表 2. 対応サーバーおよびシャーシ モデル (続き)

カテゴリ	モデル
	- Dell EMC PowerEdge VRTX ブレード エンクロージャ - Dell EMC PowerEdge FX2/FX2s - Dell EMC PowerEdge MX7000

サポートされている PDU デバイスの製造元

Power Manager でサポートされている配電ユニット (PDU) デバイスのブランドは次のとおりです。

- Vertiv Geist
- APC by Schneider Electric

ハードウェア要件

次の表に、Power Manager を使用して監視するデバイスの数に基づいたハードウェア構成の最小セットを示します。

表 3. 最小必須ハードウェア

最小推奨ハードウェア	大規模導入	小規模導入
Power Manager で管理できるデバイスの数。	最大 8000	1000
RAM	32 GB	16 GB
プロセッサ	8 コア	4 コア
ハードドライブ	250 GB	250 GB

対応 Web ブラウザー

Power Manager は、次の Web ブラウザーをサポートしています。

- Internet Explorer (64 ビット) 11 以降
- Mozilla Firefox 52 以降
- Google Chrome 58 以降
- Microsoft Edge バージョン 41.16299 以降

[Power Manager では以下はサポートされていません。]

- ビューアの認証情報で検出された PowerEdge M1000e、PowerEdge VRTX、PowerEdge FX2、および PowerEdge FX2s シャーシ
- ケーブル接続された電源供給ユニット (PSU) を搭載したサーバー
- PowerEdge FM120x4
- 閲覧者認証情報を使用するハイパーバイザー

Identifier	GUID-DC7E66A8-8703-4A71-B5AC-D2CDFD83F0A8
Version	2
Status	Translation Validated

対応プロトコル

Power Manager は次のプロトコルに対応しています。

- Power Manager は、Redfish プロトコルを使用してメトリックを取得するために、iDRAC の [テレメトリー ストリーミング] サービスに関して以下の変更を行います。
 - テレメトリー データ ストリームの有効化
 - OME-PMP-Power-A カスタム メトリック レポート定義レポートの追加またはアップロード。
- 配電ユニット (PDU) デバイス用の Simple Network Management Protocol (SNMP)。
- サーバーおよびシャーシ用の Web Services for Management (WSMAN) プロトコル。
- PowerEdge MX7000 シャーシ用の Representational State Transfer (REST) プロトコル。

Identifier	GUID-99344D13-4F67-4C0C-BC19-2B1997D102B4
Version	2
Status	Translation approved

OpenManage Enterprise と互換性のある Power Manager のバージョン

次の表は、Power Manager と OpenManage Enterprise バージョンの互換性を示しています。

表 4. Power Manager と OpenManage Enterprise の互換性マトリックス

Power Manager バージョン	OpenManage Enterprise バージョン
Power Manager 2.0	- OpenManage Enterprise 3.6.1 - OpenManage Enterprise 3.6.2
Power Manager 1.1 および 1.2	- OpenManage Enterprise 3.4 - OpenManage Enterprise 3.4.1 - OpenManage Enterprise 3.5
Power Manager 1.0	- OpenManage Enterprise 3.2 - OpenManage Enterprise 3.2.1 - OpenManage Enterprise 3.3 - OpenManage Enterprise 3.3.1

Identifier	GUID-FA06FC59-9DC5-4831-A3B7-4E7208A58E10
Version	27
Status	Translation approved

OpenManage Enterprise のロールベースと範囲ベースのアクセス制御

OpenManage Enterprise には、3つの組み込みの役割（管理者、デバイス マネージャー、ビューアー）のユーザー権限を明確に定義するロールベースのアクセス制御（RBAC）があります。さらに、範囲ベースのアクセス制御（SBAC）を使用すると、管理者はデバイス マネージャーがアクセスできるデバイス グループを制限することができます。次のトピックでは、RBAC 機能と SBAC 機能について説明します。

OpenManage Enterprise のロールベースのアクセス制御（RBAC）権限

アプライアンス設定およびデバイス管理機能へのアクセスレベルを指定する役割をユーザーに割り当てます。この機能は、ロールベースのアクセス制御（RBAC）と呼ばれています。コンソールは、アクションを許可する前に、特定のアクションに必要な権限を適用します。

この表は、役割ごとに有効なさまざまな権限のリストです。

表 5. ロールベースのユーザー権限 Power Manager

機能	システム管理者	デバイス マネージャー (割り当てられたグループの範囲)	デバイス マネージャー(割り当てられていないグループの範囲)	閲覧者
インストール Power Manager	はい	いいえ	いいえ	いいえ
アップグレード Power Manager	はい	いいえ	いいえ	いいえ
有効化 Power Manager	はい	いいえ	いいえ	いいえ
無効化 Power Manager	はい	いいえ	いいえ	いいえ

表 5. ロール ベースのユーザー権限 Power Manager (続き)

機能	システム管理者	デバイス マネージャー (割り当てられたグル ープの範囲)	デバイス マネージャー(割り 当てられていないグループの 範囲)	閲覧者
アンインストール Power Manager	はい	いいえ	いいえ	いいえ
サポートされているデ バイスの追加または削 除 Power Manager	はい	はい	いいえ	いいえ
静的グループの追加ま たは削除 Power Manager	はい	いいえ	いいえ	いいえ
Power Manager からの サポートされていない デバイスの追加または 削除。	はい	はい	いいえ	いいえ
Power Manager からの 配電ユニット (PDU) の追加または削除。	はい	はい	いいえ	いいえ
PDU のモニタリング。	はい	はい	いいえ	はい
物理グループの作成、 編集、または削除。	はい	いいえ	いいえ	いいえ
物理グループを CSV ファイルでインポート	はい	いいえ	いいえ	いいえ
ラックでのデバイスの 管理。	はい	いいえ	いいえ	いいえ
メトリックの監視	はい	はい	いいえ	はい
デバイスの電力ポリシ ーの管理	はい	はい	いいえ	いいえ
グループの電力ポリシ ーの管理	はい	いいえ	いいえ	いいえ
グループの温度でトリ ガーされるポリシーの 管理	はい	いいえ	いいえ	いいえ
デバイスのアラートし きい値の管理	はい	はい	いいえ	いいえ
グループのアラートし きい値の管理	はい	いいえ	いいえ	いいえ
アラート閾値の表示 Power Manager	はい	はい	いいえ	はい
Power Manager 設定の 変更。	はい	いいえ	いいえ	いいえ
Power Manager 設定の 表示	はい	はい	いいえ	はい
デバイスの緊急時の電 力削減 (EPR) の管理	はい	はい	いいえ	いいえ
グループの EPR の管 理	はい	いいえ	いいえ	いいえ

表 5. ロール ベースのユーザー権限 Power Manager (続き)

機能	システム管理者	デバイス マネージャー (割り当てられたグル ープの範囲)	デバイス マネージャー(割り 当てられていないグループの 範囲)	閲覧者
デバイスおよびグルー プのレポートの実行と 表示	はい	はい	いいえ	はい
デバイスのカスタム レ ポートの管理	はい	はい	いいえ	いいえ
グループのカスタム レ ポートの管理	はい	はい	いいえ	いいえ
イベントの表示	はい	はい	いいえ	はい
ダッシュボード	はい	はい	いいえ	はい

OpenManage Enterprise の範囲ベースのアクセス制御 (SBAC)

ロール ベースのアクセス制御 (RBAC) 機能を使用すると、管理者はユーザーの作成時に役割を割り当てることができます。役割は、アプライアンス設定およびデバイス管理機能へのアクセス レベルを決定します。範囲ベースのアクセス制御 (SBAC) は、管理者がデバイス マネージャーの役割を範囲と呼ばれるデバイス グループのサブセットに制限できるようにする RBAC 機能の拡張です。

デバイス マネージャー (DM) ユーザーを作成またはアップデートする際に、管理者は、1つまたは複数のシステム グループ、カスタム グループ、プラグイン グループに DM の操作アクセスを制限するための範囲を割り当てることができます。

管理者とビューアーの役割の範囲には制限はありません。つまり、すべてのデバイスおよびグループ エンティティへの RBAC 権限によって指定された操作アクセスが可能であることを意味します。

範囲は次のように実装できます。

1. ユーザーの作成または編集
2. DM 役割の割り当て
3. 操作アクセスを制限するための範囲の割り当て

割り当てられた範囲を持つデバイス マネージャー (DM) ユーザーがログインしている場合、DM はスコープされたデバイスのみを表示および管理できます。また、DM は、ジョブ、ファームウェアまたは設定テンプレートやベースライン、アラート ポリシー、プロファイルなど、対象デバイスに関連づけられたエンティティを表示および管理できます (DM はそのエンティティを作成しているか、そのエンティティの所有権が割り当てられています)。DM が作成できるエンティティの詳細については、「OpenManage Enterprise のロール ベースのアクセス制御 (RBAC) 権限」を参照してください。

OpenManage Enterprise では、ローカル ユーザーの作成時または AD/LDAP ユーザーのインポート時に、範囲を割り当てることができます。OIDC ユーザーの範囲の割り当ては、Open ID Connect (OIDC) プロバイダーでのみ実行できます。

ローカル ユーザー向け SBAC :

DM の役割を持つローカル ユーザーを作成または編集する際に、管理者は DM の範囲を定義する 1つまたは複数のデバイス グループを選択できます。

たとえば、(管理者として) 「dm1」という名前の DM ユーザーを作成し、カスタム グループの下に存在するグループ g1 を割り当てます。その後、dm1 は、g1 内のすべてのデバイスに対してのみ操作アクセス権を持ちます。ユーザー dm1 は、他のデバイスに関連する他のグループやエンティティにアクセスすることはできません。

さらに、SBAC を使用すると、dm1 は、同じグループ g1 で他の DM (例 : dm2) によって作成されたエンティティを表示することもできません。つまり、DM ユーザーは、自分が所有するエンティティのみを表示できます。

たとえば、(管理者として) 別の DM ユーザー (dm2) を作成し、カスタム グループの下に存在する同じグループ g1 を割り当てます。dm2 が g1 でデバイスの設定テンプレート、設定ベースライン、またはプロファイルを作成した場合、dm1 はそれらのエンティティにアクセスできません。その逆も同様です。

すべてのデバイスへの範囲を持つ DM は、DM が所有するすべてのデバイスおよびグループ エンティティに対して RBAC 権限によって指定された操作アクセス権を持ちます。

AD/LDAP ユーザー向け SBAC :

管理者は、AD/LDAP グループをインポートまたは編集するときに、DM の役割を持つユーザー グループに範囲を割り当てることができます。ユーザーが DM の役割を持つ複数の AD グループのメンバーであり、各 AD グループに個別の範囲が割り当てられている場合、そのユーザーの範囲はこれらの AD グループの範囲の結合になります。

例：

- ユーザー dm1 は、2 つの AD グループ (*RR5-Floor1-labadmins* および *RR5-Floor3-labadmins*) のメンバーです。両方の AD グループには DM の役割が割り当てられていて、AD グループの範囲の割り当ては次のようになります。*RR5-Floor1-LabAdmins* は *ptlab-servers* を取得し、*RR5-Floor3-LabAdmins* は *smdlab-servers* を取得します。DM dm1 の範囲は、*ptlab-servers* と *smdlab-servers* の結合になります。
- ユーザー dm1 は、2 つの AD グループ (*adg1* と *adg2*) のメンバーです。両方の AD グループには DM の役割が割り当てられていて、範囲の割り当ては次のようになります。*adg1* には *g1* へのアクセス権が与えられており、*adg2* には *g2* へのアクセス権が与えられています。*g1* が *g2* の上位集合である場合、dm1 の範囲は、より大きな範囲 (*g1*、すべての子グループ、およびすべてのリーフ デバイス) になります。

ユーザーが、異なる役割を持つ複数の AD グループのメンバーである場合は、より高い機能の役割が優先されます (管理者、DM、ビューアーの順)。

制限のない範囲を持つ DM は、すべてのデバイスおよびグループ エンティティに対する RBAC 権限によって指定された操作アクセス権を持ちます。

❗ **メモ:** OpenManage Enterprise をバージョン 3.5 またはそれ以前のバージョンからアップグレードした後、AD/LDAP および OIDC (PingFederate または KeyCloak) デバイス マネージャーは、以前のバージョンのエンティティをすべて再作成する必要があります。これは、それらのエンティティがアップグレード後は管理者のみが使用できる状態であるためです。詳細については、<https://www.dell.com/support/home/en-yu/product-support/product/dell-openmanage-enterprise/docs> にあるリリース ノートを参照してください。

❗ **メモ:** OpenManage Enterprise をバージョン 3.5 またはそれ以前のバージョンからアップグレードした後、AD/LDAP および OIDC (PingFederate または KeyCloak) デバイス マネージャーは、以前のバージョンのエンティティをすべて再作成する必要があります。これは、それらのエンティティがアップグレード後は管理者のみが使用できる状態であるためです。詳細については、<https://www.dell.com/support/home/en-yu/product-support/product/dell-openmanage-enterprise/docs> にあるリリース ノートを参照してください。

OIDC ユーザー向け SBAC：

OIDC ユーザーの範囲の割り当ては、OME コンソール内では発生しません。ユーザーの設定中に OIDC プロバイダーの OIDC ユーザーの範囲を割り当てることができます。ユーザーが OIDC プロバイダーの認証情報を使用してログインすると、役割と範囲の割り当てが OME に使用可能になります。ユーザーの役割と範囲を設定する手順の詳細については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』の「**役割に関して PingFederate で OpenID Connect プロバイダー ポリシーを設定する**」セクションを参照してください。

所有権の移行：管理者は、所有するリソースをデバイス マネージャー (ソース) から別のデバイス マネージャーに移行することができます。たとえば、管理者は、ソース dm1 からのすべてのリソースを dm2 に移行することができます。ファームウェアおよび/または設定ベースライン、設定テンプレート、アラート ポリシー、プロファイルなどのエンティティを所有するデバイス マネージャーは、適格なソース ユーザーと見なされます。所有権の移行は、デバイス マネージャーによって所有されている、デバイス グループ (範囲) ではなく、エンティティのみを別のデバイス マネージャーに移行します。詳細については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』の「**デバイス マネージャー エンティティの所有権の譲渡**」セクションを参照してください。

Identifier	GUID-6F5504B3-189A-4C9F-9444-1049A4013566
Version	8
Status	Translation approved

ライセンス要件

OpenManage Enterprise Advanced ライセンスを iDRAC ライセンスと一緒に使用して、Power Manager のすべての機能を操作します。次の表に、Power Manager でサーバーを追加および監視するために必要なライセンスの組み合わせを示します。

表 6. サーバーのライセンス機能

[OpenManage Enterprise Advanced] ライセンス	iDRAC ベース ライセンス	iDRAC Express ライセンス	iDRAC Enterprise ライセンス	iDRAC データセンタ ライセンス	デバイスおよびグループの監視	デバイスおよびグループの管理
追加なし	追加	追加なし	追加なし	追加なし	いいえ	いいえ
追加なし	追加なし	追加	追加なし	追加なし	いいえ	いいえ
追加なし	追加なし	追加なし	追加	追加なし	いいえ	いいえ
追加なし	追加なし	追加なし	追加なし	追加	いいえ	いいえ
追加	追加	追加なし	追加なし	追加なし	いいえ	いいえ
追加	追加なし	追加	追加なし	追加なし	はい	いいえ
追加	追加なし	追加なし	追加	追加なし	はい	はい
追加	追加なし	追加なし	追加なし	追加	はい	はい

次の表に、Power Manager を使用して電源管理用のシャーシを追加するために必要なライセンス情報を示します。

表 7. シャーシのライセンス機能

シャーシ モデル	CMC Enterprise ライセンス	モニタリング	電力ポリシー	緊急時の電力削減 (EPR)
PowerEdge VRTX	追加なし	はい	いいえ	はい
PowerEdge VRTX	追加	はい	はい	はい
PowerEdge FX2 または PowerEdge FX2s	追加なし	はい	いいえ	はい
PowerEdge FX2 または PowerEdge FX2s	追加	はい	はい	はい
PowerEdge M1000e	該当なし	はい	はい	はい
PowerEdge MX7000	該当なし	はい	はい	はい

Power Manager をデバイスに対して使用する場合のライセンスの動作：

- ターゲット デバイスの OpenManage Enterprise Advanced ライセンスの有効期限が切れているか削除されている場合、デバイスは Power Manager から削除されます。ライセンスを追加した後に、デバイスを Power Manager に再度追加する必要があります。
- デバイスで EPR が有効になっていて、ライセンスが期限切れまたは削除されたためにデバイスが Power Manager から削除された場合、Power Manager からこのデバイスにアクセスすることはできません。EPR を無効にするには、デバイスの iDRAC または CMC ページに移動して EPR を削除します。
- デバイスにポリシーとアラートのしきい値が設定されていて、ライセンスの有効期限が切れているか削除されたためにデバイスが Power Manager から削除された場合、ポリシーとアラートのしきい値はデバイスから削除されます。

Power Manager をグループに対して使用する場合のライセンスの動作：

- グループの場合、有効なライセンスを持つデバイスのみが、グループの一部として Power Manager に追加されます。グループ内のこれらのデバイスに対してのみメトリックが収集されます。

- OpenManage Enterprise Advanced ライセンスの有効期限が切れているか、グループの一部であるターゲット デバイスから削除されている場合、デバイスは Power Manager から削除されます。ライセンスをアップデートすると、これらのデバイスは次のインベントリ サイクルで自動的に Power Manager に追加されます。
- グループで EPR が有効になっていて、グループ内のデバイスのライセンスの有効期限が切れているか削除されている場合、デバイスは Power Manager から削除されません。
- グループで EPR が有効になっている場合、グループまたはグループの一部であるデバイスを Power Manager から削除することはできません。

Identifier	GUID-0DACB28C-B5CB-48C6-8DBA-9233B308C42D
Version	4
Status	Translation approved

拡張性とパフォーマンス

Power Manager 500 グループ (静的および物理グループ、サーバー、仮想マシン、配電ユニット (PDU)) を含む最大 8,000 のターゲット デバイスをサポートします。

Power Manager で適切な電力と温度のサンプリング間隔を設定します。サンプリング間隔は、ネットワーク帯域幅の消費、データベース サイズ、傾向グラフの表示レイテンシーなど、システムのパフォーマンスとフットプリントに大きく影響します。

Power Manager のデフォルトの電力および温度間隔は 15 分です。この値は、デバイス数が 1,000 台未満の小規模または中規模の環境に適しています。ただし、管理対象デバイスが数多く存在する状況では、この間隔は 30 分に自動設定されます。

Identifier	GUID-DDE01C11-2BCB-4CE9-B04D-BB29375E42AC
Version	1
Status	Translation approved

はじめに : Power Manager

トピック :

- [インストール Power Manager](#)
- [設定](#)
- [へのデバイスの追加 Power Manager](#)
- [への静的グループの追加 Power Manager](#)

Identifier	GUID-BA84DB2E-69E1-4BB2-BF86-25996AA18B2E
Version	5
Status	Translation approved

インストール Power Manager

デバイスまたはグループの電力および温度データを監視するには、OpenManage Enterprise に Power Manager のプラグインをインストールします。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- リポジトリへの接続が正常に行われている。
 - オンライン リポジトリに接続するには、downloads.dell.com プロキシ サーバー (存在する場合) 経由でポータルに接続して、安全な接続を行います。
 - オフライン リポジトリに接続するには、必要なプラグイン カタログとプラグイン インストール ファイルを使用して、オフライン サーバーが設定されていることを確認します。

詳細については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』を参照してください。
- 互換性のあるバージョンまたは最新バージョンの OpenManage Enterprise があることを確認してください。Power Manager と互換性のある OpenManage Enterprise バージョンのリストを表示するには、『[Power Manager と OpenManage Enterprise の互換性マトリックス](#)』を参照してください。

このタスクについて

 **メモ:** OpenManage Enterprise のプラグインをインストールすると、アプライアンス サービスが再起動します。

プラグインをインストールするには、次の手順を実行します。

手順

1. Dell EMC OpenManage Enterprise を起動して、[アプリケーションの設定] > [コンソールとプラグイン] をクリックします。
[コンソールとプラグイン] ページが表示されます。
2. **Power Manager** セクションで、[インストール] をクリックします。
[プラグインのインストール] ページが表示されます。
3. [利用可能なバージョン] ドロップダウン メニューからプラグインのバージョンを選択します (既存の OpenManage Enterprise バージョンでサポートされているプラグインのバージョンが複数ある場合)。[動作条件] のセクションに記載されている前提条件のリストを満たしていることを確認します。

 **メモ:** インストールされているバージョンの OpenManage Enterprise でサポートされているプラグインのバージョンのみが、[使用可能なバージョン] ドロップダウン メニューに一覧表示されます。
4. [プラグインのダウンロード] をクリックします。

ダウンロードの進行状況が表示された後、プラグインがダウンロードされ、プラグインのステータスが [コンソールとプラグイン] ページで [ダウンロード済] に更新されます。

5. [インストールの詳細] ページで、[プラグインのインストール] をクリックします。
[プラグインのインストール] ウィンドウが表示されます。
6. [プラグインのインストール] をクリックします。
[エンド ユーザー ライセンス契約] ウィンドウが表示されます。
7. 契約を確認し、[同意する] オプションをクリックします。
8. OpenManage Enterprise にログインしているユーザー数、進行中のタスク、およびスケジュール ジョブの詳細が [確認] ウィンドウに表示されます。

インストールを確認するには、[プラグイン アクションを実行する前に OpenManage Enterprise アプライアンスのスナップショットを取得したことに同意する。] オプションを選択してから、[インストールを確認] をクリックします。

インストールのステータスが表示されます。

- ターゲット デバイスで行ったライセンス変更の結果、Power Manager の一部であるデバイスおよびグループの最新のリストを瞬時に表示するには、OpenManage Enterprise で [インベントリの実行] をクリックし、[**Power Manager の設定**] ページの [Power Manager 機能の更新] オプションをクリックします。
- OpenManage Enterprise ダッシュボードの [Power Manager のデバイス統計] セクションから電力対応デバイス全体の数を表示します。

Identifier	GUID-A4D2D021-393E-409B-8555-8260A16C5495
Version	15
Status	Translation Validated

設定

このページの設定を使用すると、Power Manager に追加されたデバイスおよびグループのデータを収集することができます。データセンターの推奨事項に従って、[サンプルングインターバル] を設定しデバイスを監視します。

このタスクについて

デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、管理者によって構成されている設定を表示することができます。

単位およびサンプルング インターバルを設定するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [設定] の順にクリックします。
設定タブが表示されます。
2. [編集] をクリックします。
[Power Manager の設定の編集] ウィンドウが表示されます。
3. 表示されたオプションの値を選択し、[適用] をクリックします。
次の表に、Power Manager に表示される属性の詳細情報を示します。

表 8. Power Manager 設定

フィールド	説明
[データ収集インターバル]	デバイスまたはグループからのデータの収集の頻度を選択します。 ネットワーク トラフィックやデータの重要度などのデータセンターの要件を使用して、データ収集インターバルを設定します。 メモ: データ収集インターバルを 15 分に設定した場合、Power Manager に追加されたデバイスの数が 1000 を超える場合のみ、インターバルは自動的に 30 分に変更されます。この 30 分の設定を 15 分に戻すことはできません。
[上位エネルギー消費期間]	選択した期間の OpenManage Enterprise ダッシュボードで最大エネルギーを消費するデバイスまたはグループのリストを表示するには、期間を選択します。

表 8. Power Manager 設定 (続き)

フィールド	説明
	エネルギー消費デバイスまたはグループの上位 5 つのみが表示されます。
[レポート期間]	選択した期間のデータを表示します。
[集計期間]	レポートに表示する必要がある詳細情報のレベルの頻度を選択します。 ① メモ: [レポート期間] で [1 日] 以外を選択した場合は、[アグリゲーション期間] が自動的に [1 日] に設定されます。
[Power Manager データの削除]	データ要件に基づいて、次のいずれかのオプションを選択します。 • [はい]: デバイスとグループが Power Manager から削除されたときに収集された構成済みアラートしきい値とメトリック データを削除します。 • [いいえ]: デバイスとグループが Power Manager から削除されたときに収集された構成済みのアラートしきい値とメトリック データを保持します。 ① メモ: デバイスまたはグループを追加し、[Power Manager データの削除] を [いいえ] に設定すると、そのデバイスまたはグループのすべての Power Manager 関連データはビューから削除されますが、Power Manager からデバイスまたはグループを削除すると削除されません。デバイスまたはグループを再度追加すると、そのデバイスまたはグループのデータが再び使用可能になります。

① メモ: 特定の期間が経過した後にデータを削除するには、次の場所にある [データ消去間隔] オプションを設定します :
[OpenManage Enterprise] > [アプリケーション設定] > [コンソールのプリファレンス] > [メトリクス収集設定]。

次の表は、必須フィールドに関する詳細情報と各フィールドの値範囲を示しています。

表 9. 必須データのインターバルと期間に関する詳細

フィールド	必須	値の範囲
[電源ユニット]	はい [ワット] はデフォルトの単位です。	• [ワット] • [BTU/時]
[温度ユニット]	はい [摂氏] はデフォルトの単位です。	• [摂氏] • [華氏]
[データ収集インターバル]	はい デフォルト値は [15] 分です。	• [15] • [30] • [60]
[上位エネルギー消費期間]	はい デフォルト値は [3 か月] です。	• [1 日] • [7 日] • [15 日] • [1 か月] • [3 か月] • [6 か月] • [1 年]
[レポート期間]	はい デフォルト値は [3 か月] です。	• [1 日] • [7 日] • [15 日] • [1 か月]

表 9. 必須データのインターバルと期間に関する詳細（続き）

フィールド	必須	値の範囲
		• [3 か月] • [6 か月] • [1 年]
[集計期間]	はい デフォルト値は [1 日] です。	[1 日]
[Power Manager データの削除]	はい デフォルト値は [いいえ] です。	• [はい] • [いいえ]

Identifier	GUID-0A2286AD-7A2F-4312-9FD7-3482485013EA
Version	18
Status	Translation approved

へのデバイスの追加 Power Manager

電力と温度の使用率、およびデバイスのエアフロー データを収集して監視するには、デバイスを Power Manager に追加します。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- デバイスに、[OpenManage Enterprise Advanced] および必要な管理コンソールのライセンスがある。詳細については、「[ライセンス要件](#)」を参照してください。
- デバイスが OpenManage Enterprise で検出されている。デバイスの検出については、『*OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド*』を参照してください。
- モジュラー型サーバーが OpenManage Enterprise で [プロキシ] 状態になっていない。

このタスクについて

Power Manager と互換性のあるデバイスのリストを表示するには、OpenManage Enterprise でインベントリーを実行する前、インストールの直後に、次の手順を実行します。

1. OpenManage Enterprise で、[デバイス] > [インベントリーの実行] オプションをクリックします。
2. [プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] > [Power Manager 機能のリストを更新] の順にクリックします。

OpenManage Enterprise からデバイスを追加しようとすると、Power Manager と互換性のあるデバイスのリストが表示されます。

デバイスを追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
2. [個々のデバイス] > [デバイスの追加] をクリックします。
[Power Manager へのデバイスの追加] ページが表示されます。
3. 左側の [システム グループ] セクションを展開して OpenManage Enterprise で検出されたすべてのデバイスを表示し、[すべてのデバイス] タブで、追加するデバイスを選択します。
4. オプション: データをフィルターして表示するには、次の操作を行います。

- a. [詳細フィルター] をクリックします。

次のフィルターが表示されます。

- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]
- [名前]
- [識別子]

- [モデル]
- [タイプ]
- [管理状態]

5. オプション: フィルターをクリアする場合は、[すべてのフィルターのクリア] をクリックします。

6. 選択されているデバイスを表示するには、[選択されたデバイス] タブをクリックします。

7. デバイスを追加するには、[選択対象を追加] をクリックします。

Power Manager に個別に追加されたすべてのデバイスが、Power Manager に追加されたデバイスの合計数とともに [個々のデバイス] タブに表示されます。

すべての個々のデバイスおよび選択されているグループの一部であるデバイスが Power Manager に追加され、デバイスの合計数とともに [すべての監視対象デバイス] タブに表示されます。

タスクの結果

デバイスとグループを Power Manager に追加した後で、次の変更が行われます。

- デバイスまたはグループを Power Manager に追加した後、サーバーが iDRAC バージョン 4.40.40.0 以降を実行している（およびサポートされているモデルである）場合、Power Manager は iDRAC のテレメトリ ストリーミング構成を自動的に有効にして、サーバーからデータを収集するためのカスタム メトリック レポート定義を作成します。
- 追加されたデバイス ホスト仮想マシン（VM）とハイパーバイザーが Power Manager と互換性がある場合は、VM が [Power Manager デバイス] タブに表示されます。VM の表示の詳細については、「[仮想マシンの表示](#)」を参照してください。VM の監視に対応しているオペレーティングシステムのリストについては、「[仮想マシン](#)」を参照してください。

Identifier	GUID-5AFE8C60-DEFD-488C-A2FD-C5336F218E0A
Version	16
Status	Translation Validated

への静的グループの追加 Power Manager

カスタム静的グループのデータを収集して監視するには、Power Manager にグループを追加します。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- 静的グループが OpenManage Enterprise に作成されている。グループの作成については、『*OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド*』を参照してください。
- グループの一部であるサーバーには、OpenManage Enterprise Advanced ライセンスが必要です。ライセンスの追加については、『*OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド*』を参照してください。
- グループの一部であるモジュラー型サーバーが、OpenManage Enterprise で [プロキシ] 状態になっていない。
- 各グループには、40 以下のデバイスを含めることをお勧めします。
- Power Manager に追加できるグループの最大数は 500 です。
- グループ ネストの最大レベルは 5 です。

このタスクについて

メモ: OpenManage Enterprise で作成されたクエリー グループは、Power Manager ではサポートされません。

メモ: Power Manager にグループを追加すると、Power Manager と互換性のあるデバイスのみがグループの一部として追加されます。したがって、グループ内のこれらのデバイスに対してのみデータが収集されます。たとえば、Power Manager に追加したグループが 5 つのデバイスで構成されていても、3 つのデバイスのみが有効なライセンスを持っている場合、Power Manager のグループの一部として追加されるのは 3 つのデバイスのみです。

グループを追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
2. [静的グループ] タブで、[グループの追加] をクリックします。
[Power Manager へのグループの追加] ページが表示されます。
3. 左ペインで、[静的グループ] カテゴリからグループを選択し、[選択した項目を追加] をクリックします。

Power Manager に追加されたグループは、追加されたグループの総数とともに [グループ] ページに表示されます。

すべての個々のデバイスおよび選択されているグループの一部であるデバイスが Power Manager に追加され、デバイスの合計数とともに [すべての監視対象デバイス] タブに表示されます。

タスクの結果

静的グループを作成し、デバイスを OpenManage Enterprise グループに追加した後で、Power Manager をインストールした場合、Power Manager にグループを追加した後でグループ内に存在するサーバーの合計数が 0 と表示されます。OpenManage Enterprise でインベントリを実行した後、[Power Manager デバイス] タブで [Power Manager 機能のリストを更新] をクリックします。

インベントリの実行については、『*OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

デバイスまたはグループを Power Manager に追加した後、サーバーが iDRAC バージョン 4.40.10.0 以降を実行している（およびサポートされているモデルである）場合、Power Manager は iDRAC のテレメトリー ストリーミング構成を自動的に有効にして、サーバーからデータを収集するためのカスタム メトリック レポート定義を作成します。サポートされているモデルのリストについては、『*Dell EMC OpenManage Enterprise Power Manager ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

Identifier	GUID-3F9B7493-990F-4444-B7F7-CB93E8A623F4
Version	1
Status	Translation approved

デバイス検出ジョブの作成

このタスクについて

- メモ:** Power Manager でタスクを実行するには、必要なユーザー権限があることを確認します。詳細については、『OpenManage Enterprise のロールおよびスコープ ベースのアクセス制御』を参照してください。

デバイスを検出するには、次の手順を実行します。

手順

- OpenManage Enterprise を起動し、[監視] > [検出] > [作成] をクリックします。
[検出ジョブの作成] ダイアログボックスが表示されます。
- 検出ジョブの作成** ダイアログボックスには、デフォルトジョブ名が入力されます。変更するには、検出ジョブ名を入力します。
デフォルトでは、一度に同様のデバイスのプロパティを定義できます。
 - 現在の検出ジョブにさらにデバイスまたは範囲を含めるには、[追加] をクリックします。デバイスプロパティを指定可能な場所に、次の一連のフィールドがもう 1 つ表示されます：タイプ、IP/ ホスト名 / 範囲、設定。
 - 警告:** OpenManage Enterprise は、最大で 8000 のデバイスを管理できます。従って、OpenManage Enterprise でサポートされるデバイス最大数よりもデバイス数が多い大規模ネットワークは指定しないでください。指定すると、システムが応答を突然停止する可能性があります。
 - メモ:** 多数のデバイスを検出する場合は、個々の IP アドレスを使用して複数の検出ジョブを作成するかわりに、デバイスの IP 範囲を使用してください。
- [デバイスタイプ] ドロップダウンメニューから、以下を検出します。
 - サーバ、[サーバ] を選択します。『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』の「サーバー検出ジョブを作成するための検出モードの指定」セクションを参照してください。
 - シャーシ、[シャーシ] を選択します。『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』の「シャーシ検出ジョブを作成するための検出モードの指定」セクションを参照してください。
 - Dell EMC ストレージデバイス、またはネットワーク スイッチ、[Dell ストレージ] または [ネットワーキング スイッチ] を選択します。『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』の「ストレージ、Dell ストレージ、およびネットワーク スイッチ検出ジョブを作成するための検出モードの指定」セクションを参照してください。
 - 配電ユニット (PDU) デバイスを選択し、[PDU] を選択します。
 - メモ:** Power Manager をインストールまたは有効にした後にのみ、PDU デバイス タイプ オプションを表示できます。
 - 複数のプロトコルを使用してさまざまなデバイスを検出するには、[複数] を選択します。
- IP/ホスト名/範囲** ボックスには、検出される、または含まれる IP アドレス、ホスト名、または IP アドレスの範囲を入力します。このフィールドに入力可能なデータの詳細については、i シンボルをクリックしてください。
 - メモ:**
 - 範囲のサイズは 16,385 (0x4001) に制限されています。
 - IPv6 および IPv6 CIDR 形式がサポートされています。
- 設定** セクションで、範囲を検出するために使用されるプロトコルのユーザー名とパスワードを入力します。
- [追加の設定] をクリックして、別のプロトコルを選択し、設定を変更します。
 - メモ:** PDU デバイスを検出するには、SNMP プロトコルを選択していることを確認します。
- [検出ジョブのスケジュール] セクションでは、ジョブをすぐに実行したり、後の時点で実行するようにスケジュールします。
[スケジュールジョブフィールドの定義](#)、p. 26 を参照してください。
- [完了時にメール送信] チェック ボックスを選択して、検出ジョブステータスの通知を受信する電子メールアドレスを入力します。電子メールが設定されていない場合、[SMTP 設定に進む] リンクが表示されます。このリンクをクリックして SMTP の

設定を行います。このチェック ボックスを選択した場合、SMTP の設定をしなければ **終了** ボタンが表示されず、タスクを続行できません。

9. **終了** をクリックします。終了 ボタンは、フィールドが誤って入力された場合や不完全に入力された場合は表示されません。検出ジョブが作成され、実行されます。ステータスは、**ジョブの詳細** ページに表示されます。

トピック：

- [スケジュールジョブフィールドの定義](#)
- [SNMP デバイス用のカスタマイズしたデバイス検出ジョブプロトコルの作成](#)

Identifier	GUID-A3BD6B15-63CD-427B-A08E-72C5EB94B7EB
Version	4
Status	Translation Validated

スケジュールジョブフィールドの定義

- [**今すぐ実行**] を選択するとジョブをただちに実行します。
- [**後で実行**] を選択して、後で実行する日時を指定します。
- [**スケジュールどおりに実行**] を選択して、選択した頻度に基づいて繰り返し実行します。[**毎日**] を選択し、周波数を適切に選択します。

メモ: デフォルトでは、ジョブスケジューラのクロックが毎日午前 00:00 にリセットされます。cron 形式は、ジョブの頻度の計算時に、ジョブの作成時刻を考慮しません。たとえば、ジョブが午前 10:00 時に開始され、10 時間ごとに実行される場合、次にジョブが実行される時刻は午後 08:00 時になります。ただし、次に実行される時刻は午前 06:00 時ではなく、翌日の午前 0:00 になります。これは、スケジューラのクロックが毎日午前 0:00 にリセットされるからです。

Identifier	GUID-C682286A-988E-4EB7-B22B-F89D450AEDD7
Version	1
Status	Translation approved

SNMP デバイス用のカスタマイズしたデバイス検出ジョブプロトコルの作成

このタスクについて

デフォルトでは、[**SNMP を使用して検出**] チェックボックスは、ストレージ、ネットワークなどの SNMP デバイスの検出を有効にするために選択されています。

メモ: 検出可能な IO モジュールは、スタンドアロン、PMUX (プログラム可能 MUX)、VLT (仮想リンク トランッキング) モードのみです。フルスイッチおよびスタック モードは検出されません。

手順

1. [**資格情報**] で、SNMP バージョンを選択して、コミュニティタイプを入力します。
2. [**共通設定**] セクションで次の手順を実行します。
 - a. [**再試行**] ボックスに、サーバを検出するために繰り返す必要がある試行回数を入力します。
 - b. [**タイムアウト**] ボックスに、以降のジョブの実行を停止する必要がある時刻を入力します。
 - c. [**ポート**] ボックスに、ジョブで検出に使用する必要があるポート番号を入力します。
3. [**終了**] をクリックします。
4. [**デバイス検出ジョブの作成**] のタスクを完了します。詳細については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』を参照してください。

Identifier	GUID-F31AD16C-6907-4BAF-9234-B090BC8F47B0
Version	8
Status	Translation approved

Power Manager デバイスの監視および管理

本項では、管理者が Power Manager の使用を開始する際に役立つ高度な情報を記載しています。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- デバイスは Power Manager と互換性があります。詳細については、「[サポートされているデバイス](#)」を参照してください。
- Dell EMC OpenManage Enterprise でデバイスを検出します。

デバイスの検出の詳細については、『*OpenManage Enterprise ユーザーズガイド*』を参照してください。

- 静的グループの作成の詳細については、『*OpenManage Enterprise ユーザーズガイド*』を参照してください。
- ターゲット デバイスに [OpenManage Enterprise Advanced] と管理コンソールのライセンスを追加します。
ライセンスの追加の詳細については、それぞれの管理コンソール ガイドを参照してください。

デバイスおよびグループのデータを監視するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise で静的カスタム グループまたは物理グループを作成します。
[CUSTOM GROUPS] での静的グループの作成の詳細については、『*OpenManage Enterprise ユーザーズガイド*』を参照してください。
[PLUGIN GROUPS] での物理グループの作成の詳細については、「[物理グループの作成](#)」を参照してください。
OpenManage Enterprise で作成または削除された物理グループは、Power Manager に自動的に追加または削除されます。
物理グループを作成した場合は、次の操作を行います。
 - a. [監視対象外のデバイス](#)を Power Manager に追加します。
 - b. [個々のデバイスと監視対象外のデバイス](#)を物理グループに追加します。
2. サポートされている[個々のデバイス](#)または[静的グループ](#)を Power Manager に追加します。
3. [設定] ページを使用して、Power Manager のプリファレンスを設定します。詳細については、「[プリファレンスの設定](#)」を参照してください。
4. デバイスとグループを Power Manager に追加した後、次のタスクを実行できます。
 - [メトリックと監視履歴] を使用してすべてのデバイスまたはグループの[メトリックの詳細](#)を表示します。
 - デバイスまたはグループの電力消費を規制する[電力ポリシー](#)を作成して適用します。
 - デバイス温度を規制する[温度でトリガーされるポリシー](#)を作成して適用します。
 - 電力の緊急時に、[緊急時の電力削減機能](#)を使用して電力消費を削減します。
 - Power Manager で監視されているデバイスまたはグループに対する警告と重要な値を構成することで、Power Manager で[アラートしきい値](#)を作成します。
 - 組み込みまたはカスタマイズされた[レポート](#)を実行し、データ センターのデバイスやグループ、ジョブ、アラート、およびその他のパラメーターに関する詳細情報を表示します。
 - OpenManage Enterprise で Power Manager の [アラート] > [アラート ログ] から生成される[アラート](#)を表示して確認します。
 - ハイパーバイザーによってホストされている仮想マシンを表示および監視します。詳細については、「[仮想マシン](#)」を参照してください。
 - OpenManage Enterprise で [監視] > [監査ログ] タブで生成される Power Manager の一般ログを表示します。

トピック：

- [メトリックの表示とデバイスとグループの履歴の監視](#)

- 仮想マシン
- しきい値
- ポリシー

Identifier	GUID-0D252C37-8B83-47BB-A497-5C45F60E3A19
Version	20
Status	Translation Validated

メトリックの表示とデバイスとグループの履歴の監視

Power Manager に追加されたすべてのデバイスとグループについて収集されたデータを視覚的に表示します。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- デバイスまたはグループが Power Manager に追加されている。詳細については、「[Power Manager へのデバイスの追加](#)」および「[Power Manager への静的グループの追加](#)」を参照してください。

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内にあるグループおよびデバイスのみに対するデバイス メトリックを表示できます。

Power Manager のメトリックを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. [OpenManage Enterprise] で、次のいずれかの手順を実行します。

- デバイスの場合：
 - [デバイス] タブをクリックします。
OpenManage Enterprise で検出されたすべてのデバイスが表示されます。
 - デバイスの一覧で、デバイス名をクリックします。
デバイスの詳細が [概要] ページに表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[電源管理と監視] タブをクリックします。
- 静的グループの場合：
 - [デバイス] > [静的グループ] > [グループ名] をクリックします。
静的グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。
- 物理グループの場合、次のいずれかの手順を実行します。
 - [デバイス] > [物理階層] > [グループ名] の順にクリックします。
物理グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。

または

- OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] タブが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリーの一覧です。

- [グループ名]
- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]
- [タイプ]

カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。

b. デバイス名または IP アドレスをクリックします。

2. [メトリックと監視履歴] タブでメトリックと監視データを表示します。

 **メモ:** グループの場合、電力、温度、およびシステム エアフロー データのみが表示されます。

サポートされているメトリック データは、グラフィック形式で表示されます。

3. 期間を変更するには、メトリックを展開し、[期間] ドロップダウン メニューから期間を選択します。グラフ上にマウス ポインタを合わせると、最大値、平均値、および最小値が表示されます。

値は、[モニタリング ユニット] および [Power Manager の環境設定] セクションの [メトリック収集インターバル] で指定した形式に従って表示されます。

 **メモ:** PowerEdge M1000e、PowerEdge FX2、および PowerEdge FX2s シャーシの [インスタント温度] のみを表示できます。

 **メモ:** PowerEdge AMD プロセッサ サーバーの電力、温度、およびシステム エアフローの履歴のみを表示できます。

選択内容に基づいて、次のような詳細情報が表示されます。

表 10. データの単位

期間	データの単位
[6 時間]、[12 時間]、または [1 日]	データは、[設定] セクションで設定した [メトリック収集インターバル] に基づいて表示されます。
[7 日] または [1 か月]	データは 1 時間間隔で表示されます。
[3 か月]、[6 か月] または [1 年]	データは 1 日間隔で表示されます。

4. 最新のメトリックは、更新アイコンをクリックすると表示されます。

表 11. Power Manager のメトリックとサポートされているデバイスのリスト

メトリック	対応デバイス
[電力履歴 (ワット)]	- 第 12 世代以降の PowerEdge サーバー  メモ: ケーブル接続された PSU サーバーはサポートされていません。  メモ: PowerEdge Fm120 aqua はサポートされていません。 - PowerEdge MX7000 - PowerEdge M1000e - PowerEdge VRTX - PowerEdge FX2 - PowerEdge FX2s
[エネルギー消費量]	- 第 12 世代以降の PowerEdge サーバー - PowerEdge MX7000 - PowerEdge M1000e - PowerEdge VRTX - PowerEdge FX2 - PowerEdge FX2s
[温度履歴 (摂氏)]	- 第 12 世代以降の PowerEdge サーバー - PowerEdge MX7000 - PowerEdge M1000e - PowerEdge VRTX - PowerEdge FX2 - PowerEdge FX2s
[CPU の利用率]	第 13 世代以降の PowerEdge インテル サーバー

表 11. Power Manager のメトリックとサポートされているデバイスのリスト（続き）

メトリック	対応デバイス
	iDRAC バージョン 4.30.30.30 以降を搭載した第 15 世代以降の PowerEdge AMD サーバー
[I/O の使用率]	第 13 世代以降の PowerEdge サーバー（インテル）
[メモリー帯域幅の使用率（％）]	第 13 世代以降の PowerEdge サーバー（インテル）
[システム エアフロー履歴（CFM）]	- 非モジュラー型 PowerEdge サーバー - iDRAC データ センター ライセンスおよび iDRAC バージョン 4.10.10.10 以降を搭載した最新世代の AMD サーバー ① メモ: iDRAC バージョン 4.10.10.10 以上を持つ第 14 世代 AMD サーバー。

Identifier	GUID-3B6E69C6-1C7C-4CCA-9BBB-6920E4C3D033
Version	2
Status	Translation approved

仮想マシン

検出機能は、ホスト サーバーとともに仮想マシン（VM）をホストしているハイパーバイザーを検出します。仮想マシンは OpenManage Enterprise の [ゲスト情報] セクションにリストされています。Power Manager にサーバーを追加すると、Power Manager によって必要なハイパーバイザー設定が自動的に有効になり、サーバーから仮想マシンに関連するデータが取得されます。仮想マシンは [Power Manager デバイス] タブに一覧表示されます。

ハイパーバイザーは、VM の電力とエネルギー消費の詳細を直接提供するものではありません。したがって、Power Manager は、ホスト内の各 VM の CPU 使用率データを収集し、サーバーがホスト内の個々の VM に消費する電力とエネルギーを概算します。この機能を使用して、各 VM のリソース消費を表示し、VM をホストしているサーバーを監視および管理します。

次の表に、仮想マシンを監視するために Power Manager でサポートされているさまざまなオペレーティングシステムのバージョンを示します。

表 12. オペレーティングシステムとサポートされているバージョン

オペレーティングシステム	サポートされるバージョン
Microsoft Windows ハイパーバイザー	Microsoft Windows 2022
	Microsoft Windows 2019
	Microsoft Windows 2016
VMware ESXi	ESXi 7.0
	ESXi 7.0 U1
	ESXi 6.7 U3

VM は、VM ごとに一意の識別子である UUID を使用して識別されます。VM とその情報のリストは、メトリック収集ごとに更新されます。新しい VM が作成または削除された場合、この情報は次のサイクルで確認されます。VM が別のサーバーに移行され、この新しいサーバーが Power Manager に追加された場合、VM は UUID を使用して同じものとして識別され、VM のメトリック収集が続行されます。UUID が一致しない場合、VM は新しい VM として検出され、Power Manager は新しい VM としてデータの収集を開始します。

Power Manager から VM を手動で追加または削除することはできません。ホスト サーバーが Power Manager に追加された場合にのみ、VM は自動的に Power Manager に追加されます。また、ホスト サーバーが Power Manager から削除されるか、OpenManage Enterprise から削除されると、VM は Power Manager から自動的に削除されます。

Identifier	GUID-C4DD2B83-101B-421B-9EB7-11BD707919AB
Version	4
Status	Translation approved

仮想マシンの表示

Power Manager に追加されたすべての仮想マシン (VM) を表示します。

前提条件

仮想マシンを表示する前に、次のことを確認します。

- サーバー (iDRAC) とハイパーバイザー (ホスト オペレーティング システム) が OpenManage Enterprise で検出されていること。
- 検出されたサーバーとハイパーバイザーが相互に関連付けられていること。
- ハイパーバイザーを検出するために提供された認証情報に、管理者権限があること。
- サーバーが Power Manager に追加されていること。サーバーを Power Manager に追加するために必要なライセンスがあることを確認してください。詳細については、「[ライセンス要件](#)」を参照してください。

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインし、デバイス マネージャー DM1 ユーザーにグループ G1 が割り当てられている場合は、G1 グループ内のデバイスによってホストされている仮想マシンのみを表示できます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
2. Power Manager で監視されている仮想マシンを表示するには、左側のペインの [仮想マシン] セクションを展開します。
3. 特定の VM の詳細を表示するには、VM 名をクリックします。
すべての VM の詳細が記載されたセクションが右側のペインに表示されます。
4. VM の電力履歴を表示するには、[メトリックの表示] をクリックします。
サーバーと VM の電力履歴が表示されます。
5. 期間を変更するには、[期間] ドロップダウン メニューを展開して、必要な期間を選択します。
マウスのポインタをグラフの上に置くと、デバイスと VM の特定の時刻の電力状態が表示されます。
6. 最新のメトリックは、更新アイコンをクリックすると表示されます。

次の手順

VM をソース サーバーからターゲット サーバーに移行した後、ソース サーバーで VM を作成すると、移行された VM に割り当てられたのと同じ UUID が新しい VM に割り当てられる場合があります。したがって、ソース サーバーとターゲット サーバーの両方が監視されている場合、Power Manager に VM が表示されない場合があります。Power Manager によって監視されているサーバー上でホストされているすべての VM を表示および監視するには、UUID が競合している VM を確認して削除します。

VM の UUID を表示するには、次の手順を実行します。

1. OpenManage Enterprise を起動して、[デバイス] をクリックします。
2. デバイス名をクリックします。
デバイスの [概要] ページが表示されます。
3. [ハードウェア] タブをクリックし、[ゲスト情報] をクリックします。
VM ゲスト情報が表示されます。

Identifier	GUID-086189ED-44DA-4E1A-AB8F-F33F731A8D1C
Version	3
Status	Translation approved

しきい値

しきい値を使用すると、デバイスおよびグループの電力および温度のメトリックについて、警告限界値および許容限界値を指定できます。Power Manager は、設定された制限に違反すると、OpenManage Enterprise を介してアラートを生成します。電力と温度のステータスは、[電源管理と監視] タブまたは [グループの詳細] タブにグラフ形式で表示されます。

Identifier	GUID-B39120AB-A7F5-4C89-A247-C3E64CB83AC6
Version	13
Status	Translation Validated

アラートしきい値の作成

しきい値違反についてデバイスとグループを監視するには、電力と温度のしきい値を定義します。

前提条件

Power Manager にデバイスまたはグループが追加されていることを確認します。

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のデバイスに対してのみ、アラートしきい値を作成し、他のデバイス マネージャー ユーザーが作成したアラートしきい値を管理できます。

電力および温度のアラートしきい値を設定するには、次の手順を実行します。

手順

1. [OpenManage Enterprise] で、次のいずれかの手順を実行します。

- デバイスの場合：
 - a. [デバイス] タブをクリックします。
OpenManage Enterprise で検出されたすべてのデバイスが表示されます。
 - b. デバイスの一覧で、デバイス名をクリックします。
デバイスの詳細が [概要] ページに表示されます。
 - c. Power Manager の関連情報を表示するには、[電源管理と監視] タブをクリックします。
- 静的グループの場合：
 - a. [デバイス] > [静的グループ] > [グループ名] をクリックします。
静的グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - b. Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。
- 物理グループの場合、次のいずれかの手順を実行します。
 - a. [デバイス] > [物理階層] > [グループ名] の順にクリックします。
物理グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - b. Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。

または

- a. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] タブが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリの一覧です。

- [グループ名]
- [正常性状態]

- [電源状況]
- [接続状態]
- [タイプ]

カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。

b. デバイス名または IP アドレスをクリックします。

2. しきい値を設定するには、[アラートしきい値] タブをクリックし、[編集] をクリックします。

[アラートしきい値の編集] ページが表示されます。

3. [電力] および [温度] にしきい値を入力します。

メモ: アラートしきい値の単位が [BTU/Hr] の電力および [華氏] の温度に設定されている場合、値は保存後に変更される可能性があるため、値のみを指定し、他の特殊文字は指定しないでください。

電力値または温度値が警告の下限または上限の値を超えると、警告レベルのアラートが生成されて、OpenManage Enterprise に送られます。

電力値または温度値が重要値の下限または上限を超えると、重要レベルのアラートが生成されて、OpenManage Enterprise に送信されます。

4. [適用] をクリックして値を保存します。

しきい値が正常に保存され、デバイスまたはグループの現在の状態に基づいてスケールが色分けされます。

各しきい値の範囲については、以下の表を参照してください。

表 13. ワットおよび摂氏スケールのアラートしきい値範囲の詳細

フィールド	必須	値の範囲
[電力 (Watt)]		
上位警告	いいえ	制限 : 1 ~ 29307121 の整数
上位重要	いいえ	制限 : 1 ~ 29307121 の整数
[温度 (摂氏)]		
下位重要	いいえ	制限 : -10 ~ 60 度
下位警告	いいえ	制限 : -10 ~ 60 度
上位警告	いいえ	制限 : -10 ~ 60 度
上位重要	いいえ	制限 : -10 ~ 60 度

表 14. BTU/時および華氏スケールのアラートしきい値範囲の詳細

フィールド	必須	値の範囲
[電力 (BTU/時)]		
上位警告	いいえ	制限 : 3 ~ 99937283 の整数
上位重要	いいえ	制限 : 3 ~ 99937283 の整数
[温度 (華氏)]		
下位重要	いいえ	制限 : 14 ~ 140 度
下位警告	いいえ	制限 : 14 ~ 140 度
上位警告	いいえ	制限 : 14 ~ 140 度
上位重要	いいえ	制限 : 14 ~ 140 度

Identifier	GUID-FA9AC0AE-DBC8-4B16-89C0-7B88C7AE107B
Version	3
Status	Translation approved

ポリシー

Power Manager データ センターのデバイスの電力と温度を監視するのに使用できる 2 つのタイプのポリシーをサポートします。

静的ポリシー

静的ポリシーには、特定のデバイスまたはグループの電力消費量の規制に役立つさまざまな設定が含まれています。電源管理ポリシーは、さまざまな状況で役立ちます。たとえば、次の作業を行うためにポリシーを作成することができます。

- 電力消費量が回路の許容量を超過しないようにしてください。
- デバイスまたはグループのワークロードに応じて消費電力をスケジュールします。たとえば、データ センターの総電力消費量を削減するには、ワークロードが少ないときに、積極的な電力上限ポリシーを適用します。
- ラックの密度を増加させます。たとえば、グループ内のラックの密度やデバイス数を増やすには、電力上限をグループ レベルで設定し、サーバーの数を追加します。ポリシーに上限を設定することで、電力を指定された制限値内に維持できます。

温度でトリガーされるポリシー

温度でトリガーされるポリシーを使用して、冷却インフラストラクチャの障害によって発生した過熱によるデバイスへの損傷を防ぎます。これにより、グループ内のデバイスの処理能力が制限されるため、熱の生成が削減されます。このポリシーは、アメリカ暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) によって定義された標準に合うようにデータ センターの温度を維持するのに役立ちます。温度しきい値を定義して、デバイスのグループに温度でトリガーされるポリシーを作成します。しきい値を定義し、ポリシーを有効にした後、グループの平均吸気温度が温度しきい値を超える場合、Power Manager はグループに [EPR (スロットル)] を強制します。EPR ページでは、EPR のソースがデバイスに [温度でトリガーされる (スロットル)] として表示されます。

メモ: 温度でトリガーされるポリシーは、グループにのみ適用され、1 つのグループに対してサポートされている温度でトリガーされるポリシーは 1 つのみです。

メモ: グループにポリシーを適用した後、グループにデバイスを追加し、電力消費量が電力上限を超える場合は、推奨される対処とともに [アラート ログ] にアラートが表示されます。

複数のポリシーのシナリオでは、電力上限値が 1000 ワットのアクティブなポリシーがデバイスに適用され、次に電力上限値が 1500 ワットの別のアクティブなポリシーが同じデバイスに適用されている場合、このポリシーは最も制限の厳しいポリシーになるため、電力上限値が 1000 ワットのポリシーがデバイスに適用されます。

Identifier	GUID-0E0D4171-C0BD-456A-B120-8021394111E2
Version	19
Status	Translation Validated

静的ポリシーまたは温度でトリガーされるポリシーの作成

デバイスとグループの電力消費を制限する静的ポリシーを作成するか、平均吸気温度が温度しきい値を超えたときにグループ内のデバイスに EPR を適用します。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- デバイスまたはグループが Power Manager に追加されている。
- サーバーに iDRAC および OpenManage Enterprise Advanced のライセンスがある。
 - デバイスが PowerEdge VRTX または PowerEdge FX2 シャーシの場合、Chassis Management Controller (CMC) Enterprise ライセンスがあります。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内に含まれているデバイスおよびグループに対してポリシーを作成できます。

デバイス マネージャー ユーザーの権限適用範囲に共通のグループやデバイスがあり、デバイス マネージャー DM1 ユーザーがこれらのグループまたはデバイスのいずれかに対してポリシーを作成した場合は、以下が適用されます。

- デバイス マネージャー DM1 ユーザーによって作成されたポリシーはすべて、その他のデバイス マネージャー ユーザーには表示されません。
- 温度でトリガーされるポリシーはグループごとに1つしかサポートされていません。そのため、デバイス マネージャー DM1 ユーザーがあるグループに温度でトリガーされるポリシーを作成した場合、デバイス マネージャー DM2 ユーザーがそのグループに温度でトリガーされるポリシーを作成することはできません。また、デバイス マネージャー DM2 ユーザーには、温度でトリガーされるポリシーは表示されません。ただし、デバイス マネージャー DM2 ユーザーがこのグループに温度でトリガーされるポリシーを作成する必要がある場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーまたは管理者が、既存の温度でトリガーされるポリシーを削除する必要があります。

ポリシーを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ポリシー] の順にクリックします。
[ポリシー] タブが表示されます。
2. [作成] をクリックします。
[ポリシーの作成] ウィザードが表示されます。
3. [全般] セクションで、次の情報を入力して [次へ] をクリックします。
 - a. [タイプ] で、ポリシーのタイプを選択します。
 - [静的ポリシー]: デバイスまたはグループの電力消費量に上限を適用します。
 - [温度でトリガーされるポリシー]: 温度が指定された値以上になったときにデバイスのグループに緊急時の電力削減 (EPR) を適用します。

 **メモ:** ポリシーの作成後は、ポリシーのタイプを変更することはできません。

作成後にポリシーを有効にするために、[有効] オプションがデフォルトで選択されています。

 - b. ポリシー名および説明を指定します。
4. [デバイス/グループ] セクションで、必要なオプションを選択します。
 - デバイスを追加するには、以下の作業を行います。
 - a. [デバイス] のオプションを選択し、[デバイスを選択] をクリックします。
[デバイスの選択] ページが表示されます。
 - b. [詳細フィルター] をクリックします。
次のフィルターが表示されます。
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [名前]
 - [識別子]
 - [モデル]
 - [タイプ]
 - [管理状態]
 - [グループの一部]
 - c. デバイスを選択して、[選択項目の追加] をクリックします。
 - グループを追加するには、次の手順を実行します。
 - a. [グループ] オプションを選択し、[グループを選択] をクリックします。
[グループの選択] ページが表示されます。
 - b. [詳細フィルター] をクリックします。
次のフィルターが表示されます。
 - [名前]
 - [タイプ]
 - c. フィルターをクリアする場合は、**すべてのフィルターのクリア**をクリックします。
 - d. グループを選択して、[選択項目の追加] をクリックします。

メモ: ポリシーの作成時に選択できるデバイスまたはグループは1つだけです。

メモ: デバイスのポリシーを作成した後、そのポリシーをグループに適用することはできません。同様に、グループのポリシーを作成した後、そのポリシーをデバイスに適用することはできません。

5. [次へ] をクリックします。

6. 静的ポリシーの場合は、次の手順を実行します。

[ポリシー設定] セクションで、[監視期間] ドロップダウン メニューから監視期間を選択し、[電力消費上限] の値を入力して、[次へ] をクリックします。

[電力履歴] セクションを参照して、電力上限値を設定します。

- デバイスの [電力履歴]: 最小値、平均値、および最大電力消費量が下限値と上限値とともに表示されます。[監視期間] を変更すると、値が変化します。
- グループの [電力履歴]: 最小値、平均値、および最大電力消費量が下限値と上限値とともに表示されます。グループの最小、平均、最大電力履歴は、グループ内の個々のデバイスのすべての最小、平均、最大電力消費量の合計です。[監視期間] を変更すると、値が変化します。グループの上限値と下限値は、グループに含まれるすべてのデバイスの上限値と下限値の合計です。表示される [電力上限] は、グループ内のデバイスのすべての電力上限値の合計です。

電力上限値の入力に関するガイダンス :

- 表示されるデフォルトの [電力上限値] は、デバイスの上限値です。[電力上限] の値を変更すると、[電力上限] の割合が自動的に入力されます。
- [電力上限] の割合を変更すると、[電力上限] の値が自動的に入力されます。
- [範囲の割合] を変更すると、[電力上限値] が自動的に入力されます。
- グループの場合、グループレベルまたはすべてのデバイス レベルで電力上限値または消費量の割合を指定します。
- 電力上限値には、デバイスの下限値よりも大きく、上限値よりも小さい値を指定します。

メモ: 以下の PowerEdge サーバーのリストでは、[下限] と [上限] のしきい値範囲の値は常に静的です。

表 15. サーバーの電力消費上限

サーバーの世代	モデル	値の範囲 (ワット)
第 14 世代	• PowerEdge XE7440 • PowerEdge XE7420 • VxRail G560 • VxRail G560F • PowerEdge C6420 • PowerEdge R6415 • PowerEdge R7415 • PowerEdge R7425	[0] ~ [32767]
第 13 世代	• PowerEdge C6320 • PowerEdge C6320p	[0] ~ [700]

温度でトリガーされるポリシーの場合は、次の手順を実行します。

[ポリシー設定] セクションで、[監視期間] ドロップダウン メニューから監視期間を選択し、[温度しきい値] を選択または指定して、[次へ] をクリックします。

温度しきい値を設定するには、[温度データ] セクションを参照します。選択した [監視期間] の値に基づいて、温度概要の詳細が表示されます。

- [監視期間] を変更すると、値が変化します。
- [温度しきい値] ドロップダウン メニューから、希望する American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers (ASHRAE) の温度しきい値を選択します。ASHRAE クラスの選択に基づいて、温度の値が入力されます。

お住まいの地域に当てはまる ASHRAE 指針を選択するか、カスタム値を摂氏単位でのみ入力します。

- [ASHRAE 推奨値] — 27°C (81°F)
- [ASHRAE クラス A1 許容値] — 32°C (90°F)
- [ASHRAE クラス A2 許容値] — 35°C (95°F)
- [ASHRAE クラス A3 許容値] — 40°C (104°F)
- [ASHRAE クラス A4 許容値] — 45°C (113°F)
- カスタムの温度しきい値を指定することもできます。

7. [ポリシー スケジュール] セクションで、次の情報を入力して [次へ] をクリックします。

Power Manager を使用すると、特定のデバイスまたはグループに複数のポリシーを作成して適用できます。どのような場合でも、デバイスで設定されたポリシー、またはデバイスが属するグループに設定されたポリシーのどちらかによって、デバイスで複数のポリシーがアクティブな場合、ポリシーの中で最も制限度の高い電力制限がデバイスに適用されます。

- [期間] オプションで、作成時にポリシーをアクティブにするには [常に] を選択します。有効化されているときにポリシーを常にアクティブにする必要がない場合は、[範囲] をクリックして、有効化されているときにポリシーをアクティブにする必要がある期間を指定します。
- [日] オプションで、作成時にポリシーをアクティブにするには [常に] を選択します。有効化されているときにポリシーを常にアクティブにする必要がない場合は、[毎日] をクリックして、有効化されているときにポリシーをアクティブにする必要がある特定の日を指定します。
- [有効日] オプションで、有効化されているときにポリシーをアクティブにする必要がある日付範囲を選択します。

 **メモ:** 温度トリガー ポリシーはスケジュールできません。

8. [概要] セクションで、ポリシーの詳細を表示し、[完了] をクリックします。

ポリシーが正常に作成されました。

次の表に、ポリシー ウィザード内のすべてのフィールドに関する詳細情報を示します。

表 16. ポリシー ウィザードの詳細

フィールド	必須	値の範囲
[タイプ]	はい タイプはデフォルトで [静的] に設定されています。	[静的ポリシー] [温度でトリガーされるポリシー]
[名前]	はい	文字、特殊文字、数字を組み合わせます。 制限：1～255 文字
[説明]	いいえ	文字、特殊文字、数字を組み合わせます。 制限：0～255 文字
[有効化]	いいえ このチェックボックスはデフォルトで選択されています。	- 選択 - クリア
[監視期間]	はい 期間はデフォルトで [1 日] に設定されています。	[1 日] [7 日] [1 か月] [3 か月]
[静的ポリシーの場合]		
[電力上限]	はい 電力上限には、[上限] の値である [100] パーセントがデフォルトで入力されています。	推奨される制限：[下限] ～ [上限]
[時間間隔]	はい デフォルトで [常に] に設定されています。	[範囲] の制限：12 時間形式
[日]	はい デフォルトで [常に] に設定されています。	[選択した日]：少なくとも 1 日を選択します。
[アクティブな日付]	はい	[範囲]

表 16. ポリシー ウィザードの詳細（ 続き ）

フィールド	必須	値の範囲
	デフォルトで [常に] に設定されています。	• [開始日時] • [宛先] 制限：現在および将来の日付
[温度でトリガーされるポリシーの場合]		
[温度しきい値]	はい デフォルトで [ASHRAE 推奨値] に設定されています。	• カスタム値の範囲：-10 ~ 60 度 • [ASHRAE 推奨値] • [ASHRAE クラス A1] • [ASHRAE クラス A2] • [ASHRAE クラス A3] • [ASHRAE クラス A4]

Identifier	GUID-9396E83D-0827-454E-88CD-11801ABB3D50
Version	3
Status	Translation approved

ラック管理

物理グループ階層を管理し、ラック管理機能を使用して、スペースおよび電力に関するラック使用率を実行します。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- デバイスに、[OpenManage Enterprise Advanced] および必要な管理コンソールのライセンスがある。詳細については、「[ライセンス要件](#)」を参照してください。
- デバイスが OpenManage Enterprise で検出されている。デバイスの検出については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』を参照してください。
- モジュラー型サーバーが OpenManage Enterprise で [プロキシ] 状態になっていない。

このタスクについて

データ センター内のラックを監視および管理するには、次の手順を実行します。

手順

1. [物理グループ](#)を作成して、データセンターのグループ階層をレプリケートします。
2. [監視対象外のデバイス](#)を Power Manager に追加します。
3. [個々のデバイスと監視対象外のデバイス](#)を物理グループに追加します。
4. [物理階層] をグループレベルに展開し、[グループの詳細] をクリックして、グループ メトリック、適用されたポリシー、電力およびスペースのヘッドルーム データなどの Power Manager の詳細を表示します。
5. 配電ユニット (PDU) をラックに関連付けます。詳細については、「[PDU へのラックの関連付け](#)」を参照してください。
6. PDU 情報を監視します。詳細については、「[PDU の削除](#)」を参照してください。

トピック：

- [監視対象外デバイスの詳細の追加](#)
- [Power Manager 監視対象デバイスのデバイス詳細の追加または編集](#)
- [物理グループの作成](#)
- [配電ユニット](#)

Identifier	GUID-F7B972E1-34CF-4A28-B25B-371610B410D4
Version	8
Status	Translation Validated

監視対象外デバイスの詳細の追加

監視対象外のデバイスは、正確にラックを管理するために考慮する必要がある、ユーザー定義または非互換のデバイスです。監視対象外のデバイスは、電源、温度監視、電力ポリシー、EPR、アラートしきい値などの Power Manager の機能について監視されません。

このタスクについて

監視対象外のデバイスの詳細を Power Manager で追加し、データ センター内に存在する物理グループ階層を複製し、ラックを管理します。

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のグループの一部である監視対象外のデバイスの情報を表示することはできますが、編集することはできません。

- 手順
1. OpenManage Enterprise を起動して、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] > [監視対象外] > [監視対象外のデバイス] の順にクリックします。
[監視されていないデバイス] タブが表示されます。
 2. 監視されていないデバイスを追加するには、[追加] をクリックします。
監視されていないデバイスの [追加] ページが表示されます。
 3. デバイスの詳細を入力し、[終了] をクリックします。
各フィールドの情報については、次の表を参照してください。

表 17. の詳細 監視されていないデバイス

フィールド	説明	必須	値の範囲
[デバイス名]	一意のデバイス名を入力します。	はい	文字、特殊文字、数字を組み 合わせます。 制限：1～255 文字
[説明]	追加するデバイスに関する簡 単な情報を入力します。	いいえ	文字、特殊文字、数字を組み 合わせます。 制限：0～255 文字
[ホスト名]	ホスト名を入力します。	いいえ	文字、特殊文字、数字を組み 合わせます。 制限：1～255 文字
[識別子]	デバイスの一意の識別子を入 力します。	はい	文字、特殊文字、数字を組み 合わせます。 制限：1～255 文字
[モデル]	モデル名を入力します。	いいえ	文字、特殊文字、数字を組み 合わせます。 制限：0～255 文字
[デバイスのサイズ (U)]	ラックの占有スペースを確保 します。	はい	数値のみ 制限：1～80
[推定最大電力 (W)]	デバイスが消費できる定義済 みの最大電力を入力します。	いいえ	数値のみ 制限：1～629365631

Identifier	GUID-AFA4FD88-40C0-410C-A569-08C036E8C3A0
Version	7
Status	Translation Validated

Power Manager 監視対象デバイスのデバイス詳細の追加 または編集

ラック管理を正確に行えるよう、Power Manager の監視対象デバイスのデバイス詳細を追加します。

このタスクについて

-  **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のグループの一部であるデバイスの詳細を表示して編集できます。ただし、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとして、自分の権限適用範囲内のグループにデバイスを追加することはできません。

デバイスの詳細を追加するには、次の手順を実行します。

手順

- 1. [OpenManage Enterprise] を起動します。
- 2. [デバイス] ページで、[名前] と [IP アドレス] 列以外の行をクリックしてデバイスを選択します。
- 3. ページの一番下までスクロールして、ページの右下にある [Power Manager のデバイスの詳細] セクションを表示します。
- 4. [詳細のアップデート] をクリックします。
[Power Manager のデバイスの詳細][] ページが表示されます。
- 5. デバイスのサイズをラック単位で入力し、デバイスの最大電力消費量をワット単位で入力して、[適用] をクリックします。
電力値は自動的に BTU に変換されて表示されます。
デバイスの詳細がアップデートされます。

Identifier	GUID-9ED4E64F-D8E6-4D59-829B-2B8A25786909
Version	9
Status	Translation Validated

物理グループの作成

Power Manager では、データ センターの物理的な組織と階層を複製し、アップデートすることができます。次の階層を使用して、データ センター、部屋、通路、およびラックが物理グループを作成し、デバイスをラック レベルで追加します。

このタスクについて

物理グループの詳細を含む CSV ファイルをインポートして物理グループを作成するか、Power Manager でデータセンター階層を仮想的に複製します。

OpenManage Enterprise で作成または削除された物理グループは、Power Manager に自動的に追加または削除されます。

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているデバイスおよびグループのみを表示できます。

OpenManage Enterprise での物理グループの作成

手順

- 1. [OpenManage Enterprise] を起動します。
- 2. [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。
- 3. [物理階層] セクションで、オプションをクリックし、[新しい物理グループの作成] をクリックします。
[新しい物理グループの作成] ページが表示されます。
- 4. グループの名前と説明を入力し、定義済みの電力容量を持つ [グループ階層] と [親グループ] を選択します。
[グループ階層] および [親グループ] フィールドを選択する場合は、次の階層を使用していることを確認します。

表 18. サポートされている親および子グループの階層情報

親グループ	グループ階層
データ センター	部屋、通路、ラック
部屋	通路、ラック
通路	ラック
ラック	該当なし

表 19. 物理グループの属性の詳細

フィールド	説明	必須	値の範囲
名前	物理グループの一意の名前を入力します。	はい	文字、特殊文字、数字を組み合わせます。 制限：1～255 文字
説明	物理グループに関する情報を簡潔に入力します。	いいえ	文字、特殊文字、数字を組み合わせます。 制限：0～255 文字
グループ階層	[親グループ] の下のカテゴリを定義します。	はい	- データ センター - 部屋 - 通路 - ラック
親グループ	物理グループの高レベル階層を表します。	はい	- 物理階層 - 以前作成された物理グループ
電力容量 (W)	物理グループに対して定義された最大電力消費を入力します。	はい。[ラック] グループのみです。 データ センター、部屋、通路グループはオプションです。	推奨される制限：1～629365631
スペース容量 (U-SIZE)	ラック管理用のラック容量を入力します。 ① メモ: このオプションは、[ラック] にのみ適用されます。	はい	推奨制限：1U～80U

① **メモ:** デバイスの電力容量とスペース容量は、iDRAC または CMC コンソールではなく、Power Manager でのみアップデートされます。

Identifier	GUID-522DBC93-ACAF-43CF-A0EA-ADEEECCDB9D2
Version	9
Status	Translation Validated

物理グループへのデバイスの追加

正確にラックを管理できるよう、物理グループにデバイスを追加します。

前提条件

- 次の動作条件が満たされていることを確認します。
- 物理グループに追加する予定の監視対象外デバイスのサイズを追加する。
 - 緊急時の電力削減 (EPR) がデバイスで有効になっていません。

このタスクについて

物理グループにデバイスを追加するには、次の手順を実行します。

手順

- OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。
 - [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。
 - デバイスを表示するには、[物理階層] グループをラック レベルまで展開し、右クリックして、[ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。

または

- a. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。

[ラック ビュー] ページが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリーの一覧です。

- [グループ名]
- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]
- [タイプ]

カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。

- b. ラック名をクリックします。
[ラックの管理] ページが表示されます。

2. OpenManage Enterprise で検出されたデバイスを追加するには、[ラック スロットに追加] をクリックします。
[デバイスをラック スロットに追加] ウィザードが表示されます。

3. [デバイスを選択] セクションでデバイスを選択し、[次へ] をクリックします。

4. オプション: データをフィルターして表示するには、次の手順を実行します。

- a. [詳細フィルター] をクリックします。
- b. フィルターのカテゴリを選択します。

次のフィルターがデバイスに対して表示されます。

- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]
- [名前]
- [デバイスのサイズ (U)]
- [識別子]
- [モデル]
- [タイプ]
- [管理状態]

5. [ラック スロットにデバイスを追加] では、デフォルトで、デバイスがラック内の使用可能なスロットに自動的に追加されます。特定のスロットにデバイスを追加するには、[自動] ドロップダウン メニューを選択し、必要なスロットを選択します。

6. [終了] をクリックします。
追加されたデバイスは、[ラックの管理] ページに図で表示されます。

 **メモ:** ラック スロット オプションは、シャーシ、ラック サーバー、ストレージ、ネットワーク スイッチ、および監視対象外のデバイスで使用できます。

シャーシ内のモジュラー型サーバーの詳細と接続されている入出力モジュール (IOM) の詳細を表示するには、[ラックの管理] ページでシャーシを見つけ、IP アドレスまたはデバイス名にマウス ポインタを合わせます。

Identifier	GUID-278048E2-6A33-492D-9F8E-83A8DF612BEB
Version	3
Status	Translation approved

CSV ファイルを使用した物理グループの作成

インポート機能を使用すると、階層のある物理グループを手動で作成する代わりに、CSV ファイルから新規または既存の物理グループの詳細をインポートすることによって、Power Manager で物理グループを作成し、ラック スロットにデバイスを追加できます。

このタスクについて

CSV ファイルを作成してインポートする前に、次の点を考慮してください。

- 管理者のみが CSV ファイルをインポートできます。
- スクリプトは、デバイスが OpenManage Enterprise で検出されたかどうかを確認します。
- 作成する物理グループが次のように階層に準拠していることを確認します。

表 20. サポートされている階層形式

物理グループ	サポートされている階層
データ センター	部屋、通路、ラック
部屋	通路、ラック
通路	ラック
ラック	適用なし

- 物理グループでラックを作成するときは、ラック名、電力容量、およびスペース容量を指定してください。
- 物理グループ階層内の各物理グループとその兄弟は、一意の名前で識別されます。
- 物理グループにデバイスを追加するには、次のようにします。
 - それぞれの行に1つのデバイスの詳細が入力されていることを確認します。デバイスは一意の識別子によって識別されます。インポート中は同一のデバイスが無視され、一意のデバイスのみがラック スロットに追加されます。
 - デバイスを特定のスロットに配置するには、ラック スロットの情報が入力されていることを確認します。
- 同じ物理グループ階層で複数のデバイス割り当てを検討している場合は、フィールドを複製できます。ただし、一意のフィールドはラック スロットとデバイス識別子のみです。
- [ジョブ] ページでタスク ジョブの **CSV インポート** を選択して、インポート ジョブの詳細を表示します。**実行の詳細** ページでは、ファイルに追加された各行のステータスを表示することができます。

手順

- OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
- [物理グループ] をクリックし、[インポート] をクリックします。
[CSV ファイルからの物理グループのインポート] ページが表示されます。
- オプション: CSV ファイルの形式を表示するには、[サンプル ファイルのダウンロード] をクリックします。
サンプル CSV ファイルがダウンロードされます。このファイルは、グループ情報を追加するための参考として利用できます。
- CSV ファイルをアップロードして物理グループを作成するには、[CSV ファイルのインポート] をクリックします。
エントリーが有効な CSV ファイルをインポートすると、グループが正常に作成されます。

Identifier	GUID-51AA42AA-62AC-4FE3-9BC6-402AF7351439
Version	1
Status	Translation approved

配電ユニット

配電ユニット(PDU)は、ラック内のすべてのデバイスに電力を供給することができる複数の電源を備えたデバイスです。PDU は、次の2つのカテゴリに分類できます。

- 非インテリジェント PDU—すべての電源に電力を均等に分散します。
- インテリジェント PDU—高度な監視機能とリモート コントロールを提供します。

市場で入手可能なさまざまなタイプの PDU デバイスから選択できますが、Power Manager は従量制の PDU のみをサポートします。

従量制 PDU は、安全なネットワーク上の電力消費を表示するインテリジェント ラック PDU です。これらは、管理者が回路の過負荷を回避し、電力使用効率(PUE)を計算するのに役立ち、正確な電力使用量とラック レベルでの利用可能な容量を提供します。また、サーバーの電力消費量とさまざまなデバイス レベルを特定し、使用量に応じてデータセンターの顧客の充電を行うこともできます。

Identifier	GUID-2E8E9BBF-2FC9-4FD8-986F-4A0C6848534E
Version	4
Status	Translation approved

PDU をラックに関連づける

それぞれの配電ユニット (PDU) デバイスをラックに関連づけて、正確な電力消費量を監視します。

前提条件

PDU デバイスが OpenManage Enterprise で検出されていることを確認します。

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー ユーザーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲内に定義されているグループに追加された PDU デバイスを表示することはできます。ただし、グループに PDU を関連付けることはできません。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。
 - [プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックし、右クリックして [ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。
または
 - a. [デバイス] をクリックします。
[デバイス] ページが表示されます。
 - b. [プラグイン グループ] > [物理階層] の順にクリックして、ラック レベルまで展開してグループを右クリックし、[ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。
2. PDU をラックに関連付けるには、次のいずれかの手順を実行します。
 - [関連付けられたデバイス] タブをクリックして、[ラックへの関連付け] をクリックします。
[デバイスの選択] ウィザードが表示されます。
 **メモ:** このページには、選択できる PDU のみが表示されます。
または
 - [ラック スロットに追加] オプションをクリックします。
[デバイスの選択] ウィザードが表示されます。
 **メモ:** このページには、Power Manager に追加されているすべてのデバイスが表示されます。
3. オプション: データをフィルターして表示するには、次の操作を行います。
 - a. [詳細フィルター] をクリックします。
次のフィルターが表示されます。
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [名前]
 - [識別子]
 - [モデル]
 - [タイプ]
 - [管理状態]
4. オプション: フィルターをクリアする場合は、[すべてのフィルターのクリア] をクリックします。
5. [デバイスを選択] セクションでデバイスを選択し、[次へ] をクリックします。
6. [ラック スロットへのデバイスの追加] セクションで、[終了] をクリックします。
PDU デバイスがラックに関連付けられ、[関連付けられたデバイス] タブに表示されます。

Identifier	GUID-37396718-DB45-4E36-9CA4-70BB5F8CD6DB
Version	3
Status	Translation approved

電力削減中のデータ センターの管理

緊急時の電力削減（EPR）機能は、電力の緊急時にデバイスの電力消費をすぐに削減するのに役立ちます。たとえば、電源障害が発生し、デバイスが UPS で実行されている場合は、EPR を適用して管理対象デバイスの電力消費を削減できます。

EPR は、冷却インフラストラクチャの障害によって発生した過熱によるデバイスへの損傷を防ぐのにも役立ちます。平均吸気温度が指定されたしきい値を超える場合は、温度でトリガーされるポリシーを使用してデバイスのグループで EPR を有効にします。

- ① **メモ:** デバイスに EPR を適用すると、電力が極端に低いレベルに下がり、パフォーマンスに影響を与えたり、デバイスを完全にシャットダウンしたりします。EPR が適用されているすべてのデバイスが影響を受けます。この機能は緊急時のみに使用するようにしてください。

サーバー、シャーシ、およびグループで利用可能な EPR オプションは次のとおりです。

- [スロットル]: 電力消費を最小限に抑えた状態に設定します。
- ① **メモ:** シャーシには [スロットル] オプションのみがサポートされています。
- [シャットダウン]: サーバーをシャットダウンします。

デバイスおよびグループに EPR を適用すると、[Power Manager デバイス] タブで [EPR の有効化 (スロットル)] または [EPR の有効化 (シャットダウン)] としてマークされます。EPR が適用されたデバイスおよびグループの概要は、[Power Manager] の [緊急時の電力削減] ページに表示されます。

トピック：

- [緊急時の電力削減の有効化](#)
- [アクティブな緊急時の電力削減の表示](#)
- [緊急時の電力削減の無効化](#)

Identifier	GUID-89F4519E-C87E-4551-A0CB-73CA2FE62A73
Version	14
Status	Translation Validated

緊急時の電力削減の有効化

電力不足時は、最小限の電力でデバイスが稼働するように、デバイスの緊急時の電力削減（EPR）を有効にします。

このタスクについて

- ① **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内に定義されているデバイスまたはグループに対して EPR を有効にできます。また、EPR が手動で適用された場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーまたは管理者のみが EPR を無効にできます。

デバイス マネージャー ユーザーの権限適用範囲に共通のグループやデバイスがあり、デバイス マネージャー DM1 ユーザーがこれらのグループまたはデバイスのいずれかに対して EPR を適用した場合は、以下が適用されます。

- 他のデバイス マネージャー ユーザー、管理者、閲覧者には、赤色のバナーが表示されます。ただし、デバイス マネージャー DM1 ユーザー専用の [緊急時の電力削減] タブと [ポリシーと EPR] タブには、アクティブな EPR が表示されますが、共有リソースではないため、その他のデバイス マネージャー ユーザーには表示されません。
- 温度でトリガーされるポリシーがデバイス マネージャー DM1 ユーザーによって作成されたために、温度でトリガーされる EPR がグループまたはデバイスに適用されている場合、他のすべてのデバイス マネージャー ユーザーには、EPR のソースを含む赤色のバナーが表示されます。

① メモ: 温度でトリガーされる EPR を手動でアクティブにすることはできません。温度でトリガーされるポリシーがアクティブなときに、グループの温度がしきい値以上になると、Power Manager によって EPR が自動的に適用されます。

EPR を有効にするには、次の手順を実行します。

手順

1. [OpenManage Enterprise] で、次のいずれかの手順を実行します。

- デバイスの場合：
 - a. [デバイス] タブをクリックします。
OpenManage Enterprise で検出されたすべてのデバイスが表示されます。
 - b. デバイスの一覧で、デバイス名をクリックします。
デバイスの詳細が [概要] ページに表示されます。
 - c. Power Manager の関連情報を表示するには、[電源管理と監視] タブをクリックします。
- 静的グループの場合：
 - a. [デバイス] > [静的グループ] > [グループ名] をクリックします。
静的グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - b. Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。
- 物理グループの場合、次のいずれかの手順を実行します。
 - a. [デバイス] > [物理階層] > [グループ名] の順にクリックします。
物理グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - b. Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。

または

- a. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] タブが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリの一覧です。

- [グループ名]
- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]
- [タイプ]

カテゴリ選択し、フィルターされたデータを表示します。

- b. デバイス名または IP アドレスをクリックします。

2. EPR を有効にするには、[ポリシーと EPR] タブをクリックしてから [EPR を適用する] をクリックします。

確認画面で、オプションを 1 つを選択し、[EPR を適用する] をクリックします。

- [スロットル]: 選択されたすべてのデバイスとグループは、極めて低レベルの電力を消費することができます。この設定は、パフォーマンスに影響します。
 - ① メモ:** スロットルオプションは、iDRAC DC または iDRAC Enterprise ライセンスとシャーシを備えたサーバーでサポートされています。
- [シャットダウン]: 選択したすべてのデバイス、または選択したグループの一部のデバイスが正常にシャットダウンされます。
 - ① メモ:** グループがサーバーとシャーシで構成されている場合、[シャットダウン] オプションを選択した場合、グループ内のサーバーのみがシャットダウンされます。シャットダウン オプションはサーバーにのみ適用されます。

3. 確認画面で [はい] をクリックします。

EPR は、選択したデバイスまたはグループで有効になります。赤色のバー インジケーターが、適用した EPR オプションのタイプとともに [ポリシーと EPR] タブに表示されます。

アクティブな緊急時の電力削減の表示

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、割り当てられたデバイスおよびグループに対してデバイス マネージャー DM1 ユーザーによって適用された EPR のみを表示できます。

デバイス マネージャー ユーザーの権限適用範囲に共通のグループやデバイスがあり、デバイス マネージャー DM1 ユーザーがこれらのグループまたはデバイスのいずれかに対して EPR を適用した場合は、以下が適用されます。

- 他のデバイス マネージャー ユーザー、管理者、閲覧者には、赤色のバナーが表示されます。ただし、デバイス マネージャー DM1 ユーザー専用の [緊急時の電力削減] タブと [ポリシーと EPR] タブには、アクティブな EPR が表示されますが、共有リソースではないため、その他のデバイス マネージャー ユーザーには表示されません。
- 温度でトリガーされるポリシーがデバイス マネージャー DM1 ユーザーによって作成されたために、温度でトリガーされる EPR がグループまたはデバイスに適用されている場合、他のすべてのデバイス マネージャー ユーザーには、EPR のソースを含む赤色のバナーが表示されます。

緊急時の電力削減 (EPR) が適用されているデバイスとグループのリストを表示するには、次の手順を実行します。

手順

OpenManage Enterprise で、次のいずれかを実行します。

- デバイスまたはグループに適用されている EPR を表示するには、[デバイス] タブをクリックし、デバイス名をクリックして、[電源管理と監視] タブをクリックし、次に [ポリシーと EPR] をクリックします。
- Power Manager ですべてのデバイスとグループに適用された EPR を表示するには、次の操作を実行します。

a. [プラグイン] > [電源管理] > [緊急時の電力削減] の順にクリックします。

[緊急時の電力削減] タブが表示されます。

次のフィールドが表示されます。

- [割り当て先]: EPR が適用されているデバイス名またはサービス タグ。
- [エンティティ タイプ]: デバイスのタイプ。サポートされているエンティティ タイプは、デバイスとグループです。
- [EPR タイプ]: 適用されている EPR のタイプ。サポートされている EPR タイプは、[スロットル] と [シャットダウン] です。
- [EPR ソース]: EPR トリガーのソース。EPR は手動または自動で適用できます。
- [作成日]: EPR が適用された日付。

b. データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] をクリックします。

次のコンポーネントを使用してデータをフィルター処理できます。

- [割り当て先]: デバイス名またはサービス タグに基づいて EPR をフィルター処理します。
- [EPR ソース]: EPR ソースをフィルター処理します。サポートされているフィルターは、[すべて]、[手動]、および [温度でトリガー] です。

c. 列をアルファベット順にソートするには、列名をクリックして、列名とともに矢印が表示されるようにします。

緊急時の電力削減の無効化

デバイスまたはグループを通常の状態に戻すには、緊急時の電力削減 (EPR) を無効にします。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーがアクセス権を持つデバイスおよびグループに、デバイス マネージャー DM1 ユーザーが適用した EPR のみ無効にすることができます。

 **メモ:** 温度でトリガーされるイベントによってアクティブ化された EPR を手動で無効にすることはできません。温度が通常値まで下がった後、EPR は Power Manager によって自動的に削除されます。

手動で適用した EPR を無効にするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [緊急時の電力削減] の順にクリックします。
2. デバイスまたはグループを選択し、[無効化] をクリックします。
確認ページで [はい] をクリックします。
EPR は正常に無効化されました。

Identifier	GUID-CDDD3626-35B4-4B35-B5FA-8598EAF1848B
Version	1
Status	Translation Validated

Power Manager データへのクイック アクセス

Power Manager のデータをすばやく表示するには、OpenManage Enterprise または Power Manager ダッシュボードに移動します。

- お気に入りのグループの電力および温度履歴をすばやく表示するには、OpenManage Enterprise ダッシュボードに追加します。詳細については、「[Power Manager グループの電力および温度履歴の表示](#)」を参照してください。
- エネルギー消費量が最も多い上位 5 つのデバイスまたはグループを表示するには、OpenManage Enterprise ダッシュボードの [[上位のエネルギー消費者]] グラフを参照してください。
- Power Manager によって管理されているデバイス総数に対して、OpenManage Enterprise に追加され、Power Manager と互換性のあるデバイス数の割合を表示するには、OpenManage Enterprise ダッシュボードの [[Power Manager のデバイス統計]] グラフを参照してください。
- 電力および温度に違反している上位 10 個を表示するには、「[上位 10 個の表示](#)」を参照してください。

トピック：

- [Power Manager グループの電力および温度履歴の表示](#)
- [エネルギー消費量が多い上位 5 デバイスの表示](#)
- [OpenManage Enterprise で検出されたデバイスと追加されているデバイスの比率の表示](#)
- [Power Manager 上位 10 件の電力しきい値違反の表示](#)
- [Power Manager 上位 10 件の温度しきい値違反の表示](#)
- [電力とスペースで使用率の低い上位 10 位のラックの表示](#)
- [電力およびスペースのヘッドルームの表示](#)

Identifier	GUID-2D906A01-A034-491E-8622-0F58076A2E40
Version	10
Status	Translation Validated

Power Manager グループの電力および温度履歴の表示

このタスクについて

OpenManage Enterprise ダッシュボード上の Power Manager 固有のデータにすばやくアクセスします。

-  **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているデバイスおよびグループの電力および温度履歴グラフを表示できます。デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内で消費電力が最も大きく、温度が最も高いグループのみが表示されます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[ホーム] をクリックして、[**Power Manager**] セクションに移動します。
2. グループの電力または温度履歴を表示するには、[電力履歴] または [温度履歴] タブをクリックします。グラフが表示されます。
3. オプション: 期間を変更するには、[期間] ドロップダウン メニューからオプションを選択します。
4. [グループ] 検索ボックスを使用してグループを検索します。
5. オプション: データを更新するには、[更新] オプションをクリックします。

Identifier	GUID-5C7DE6C8-AF13-4AEE-BD52-763989C94ABC
Version	4
Status	Translation Validated

エネルギー消費量が多い上位 5 デバイスの表示

このタスクについて

OpenManage Enterprise ダッシュボードの [Power Manager] セクションで、最も多くエネルギーを消費しているデバイスを表示します。

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループからエネルギー消費量が高い上位 5 つのデバイスのみが表示されます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[ホーム] をクリックして、[**Power Manager**] セクションに移動します。
2. エネルギー消費量が多い上位 5 デバイスを表示するには、[上位エネルギー消費者] タブをクリックします。
3. [フィルター] ドロップダウン メニューを使用して、サーバー、シャーシ、およびグループに関するデータを表示します。

Identifier	GUID-BC0EDAAC-8A8E-4FBB-BD2D-681CCE9E8BFD
Version	4
Status	Translation Validated

OpenManage Enterprise で検出されたデバイスと追加されているデバイスの比率の表示 Power Manager

このタスクについて

OpenManage Enterprise で検出され、Power Manager と互換性のあるデバイスの総数と、Power Manager で監視されているデバイスの総数の比率を表示します。

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられ、Power Manager で監視できるデバイスの総数と、デバイス マネージャー DM1 の権限適用範囲内で監視対象として Power Manager に追加されたデバイスの数の比較を表示できます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[ホーム] をクリックして、[**Power Manager**] セクションに移動します。
2. 比率を表示するには、[デバイス統計] タブをクリックします。

Identifier	GUID-9F24DC2C-EDB4-409D-A23B-4C6F0FB1BCCA
Version	8
Status	Translation Validated

上位 10 件の電力しきい値違反の表示

前提条件

[アラートしきい値] タブの [電源管理と監視] タブ (デバイスの場合) または [グループの詳細] (グループの場合) で電力および温度しきい値が設定されていることを確認します。

このタスクについて

定義された電力しきい値に違反しているデバイスとグループのリストを表示するには、[Power Manager : デバイスのメトリックしきい値レポート] および [Power Manager : グループのメトリックしきい値レポート] のビルトイン レポートを実行します。電力しきい値の違反件数の合計は、上位警告と上位重要の各違反件数の合計です。温度しきい値の違反件数の合計は、上位警告、上位重要、下位警告、下位重要の各違反件数の合計です。

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられ、定義されたしきい値に違反した回数の多い上位 10 位のデバイスが表示されます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[プラグイン] > [電源管理] > [概要] タブの順にクリックします。
[概要] タブが表示されます。
2. [上位 10 件の電力しきい値違反の表示] のセクションを表示します。
デフォルトで提供されるデバイス情報には、デバイス名、サービス タグ、デバイスが定義された電力しきい値に違反した回数、定義されたアラートしきい値に基づく違反の性質などの詳細が含まれます。
3. 電力しきい値に違反しているグループを表示するには、[エンティティ タイプ] ドロップダウン メニューから [グループ] オプションを選択します。
デフォルトで提供されるデバイス情報には、グループ名、グループが定義された電力しきい値に違反した回数、定義されたアラートしきい値に基づく違反の性質などの詳細が含まれます。
4. 特定の違反状態のデバイスまたはグループを表示するには、[状態] ドロップダウン メニューからオプションを選択します。
5. オプション: データを更新するには、[更新] オプションをクリックします。

Identifier	GUID-56413432-AB72-4B4F-B3D2-C47C926D37F4
Version	6
Status	Translation Validated

上位 10 件の温度しきい値違反の表示

前提条件

[アラートしきい値] タブの [電源管理と監視] タブ (デバイスの場合) または [グループの詳細] (グループの場合) で電力および温度しきい値が設定されていることを確認します。

このタスクについて

定義された電力しきい値に違反しているデバイスとグループのリストを表示するには、[Power Manager : デバイスのメトリックしきい値レポート] および [Power Manager : グループのメトリックしきい値レポート] のビルトイン レポートを実行します。電力しきい値の違反件数の合計は、上位警告と上位重要の各違反件数の合計です。温度しきい値の違反件数の合計は、上位警告、上位重要、下位警告、下位重要の各違反件数の合計です。

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内で温度しきい値に違反した回数が最も多いすべてのデバイスが表示されます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[プラグイン] > [電源管理] > [概要] タブの順にクリックします。
[概要] タブが表示されます。
2. 温度しきい値に違反しているデバイスを表示するには、[温度しきい値に違反している上位 10 デバイス] セクションに移動します。
デフォルトで提供されるデバイス情報には、デバイス名、サービス タグ、デバイスが定義された温度しきい値に違反した回数、定義されたアラートしきい値に基づく違反の性質などの情報が含まれます。
3. 温度しきい値に違反しているグループを表示するには、[エンティティ タイプ] ドロップダウン メニューから [グループ] オプションを選択します。
デフォルトで提供されるデバイス情報には、グループ名、サービス タグ、グループが定義された温度しきい値に違反した回数、定義されたアラートしきい値に基づく違反の性質などの情報が含まれます。
4. 特定の違反状態のデバイスまたはグループを表示するには、[状態] ドロップダウン メニューからオプションを選択します。
5. オプション: データを更新するには、[更新] オプションをクリックします。

Identifier	GUID-9BE05CC6-BA07-4E35-8E4A-93A80D163CAF
Version	5
Status	Translation Validated

電力とスペースで使用率の低い上位 10 位のラックの表示

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられている物理グループ内で使用率の低い上位 10 位のラックが表示されます。

使用率の低い上位 10 位のラックを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[プラグイン] > [電源管理] > [概要] タブの順にクリックします。
[概要] タブが表示されます。
2. 電力の使用率の低いラックを表示するには、[使用率の低いラック (電力) の上位 10 位] のグラフに移動します。
デフォルトでは、[実際] ビューが表示されます。
スケールをパーセントに変更するには、[表示] ドロップダウン メニューをクリックして、[パーセント] オプションを選択します。
3. スペースの使用率の低いラックの上位 10 位を表示するには、[使用率の低いラック (スペース) の上位 10 位] のグラフに移動します。
デフォルトでは、[実際] ビューが表示されます。
スケールをパーセントに変更するには、[表示] ドロップダウン メニューをクリックして、[パーセント] オプションを選択します。
4. 表形式で情報を表示するには、表形式の画像をクリックします。
次の表が表示されます。
5. データを更新するには、[更新] オプションをクリックします。

Identifier	GUID-30E9C993-8659-4D7B-8461-7DAFD876E4F8
Version	5
Status	Translation Validated

電力およびスペースのヘッドルームの表示

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーのみに割り当てられている物理グループの電力およびスペースのヘッドルーム データが表示されます。

グループ内の電力消費量を表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[プラグイン] > [電源管理] > [概要] タブの順にクリックします。
[概要] タブが表示されます。
2. [ヘッドルーム] セクションに移動します。
電力ヘッドルームとスペース ヘッドルームのグラフが表示されます。
3. グループ名を変更するには、[物理階層グループ] フィールドにグループ名を入力し、[Enter] キーを押します。
電力およびスペース ヘッドルームの詳細が表示されます。
4. オプション: データを更新するには、[更新] オプションをクリックします。

Identifier	GUID-D923A76E-FC68-47EE-B79A-B8DF5D14F984
Version	4
Status	Translation approved

保守 Power Manager

アラートやしきい値を管理するとともに、Power Manager に追加されたプラグインやデバイスおよびグループを管理します。

トピック：

- [Power Manager プラグインの管理](#)
- [個々のデバイスと静的グループの管理](#)
- [物理グループの管理](#)
- [アラートしきい値の維持](#)
- [ポリシーのメンテナンス](#)
- [監視されていないデバイスの管理](#)
- [PDU デバイスの管理](#)
- [アンインストール Power Manager](#)

Identifier	GUID-A7288BD5-DFB2-4534-BFDA-8EAE6D35814
Version	4
Status	Translation Validated

Power Manager プラグインの管理

デバイスの電力および温度を監視するために、Power Manager プラグインを無効または有効にします。

Identifier	GUID-1695EF5A-A63A-4FAE-AD08-7F9DED216C89
Version	9
Status	Translation approved

無効 Power Manager

OpenManage Enterprise で Power Manager のすべての機能を無効にします。Power Manager に固有の REST API も無効になります。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- 緊急時の電力削減（EPR）がデバイスで有効になっていない。[緊急時の電力削減] ページのすべてのデバイスおよびグループの EPR ステータスを表示します。
- アクティブなポリシーがありません。

OpenManage Enterprise を使用しているユーザー数と実行中のジョブに関する詳細が表示されます。

このタスクについて

 **メモ:** OpenManage Enterprise のプラグインを無効にすると、アプライアンス サービスが再起動されます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[アプリケーション設定] > [コンソールとプラグイン] の順にクリックします。
[コンソールとプラグイン] タブが表示されます。
2. [Power Manager] セクションで、[無効化] オプションをクリックします。
[プラグインの無効化] ページが表示されます。
3. [プラグインの無効化] をクリックします。
[確認] ページが表示されます。

4. [確認] ページで、[プラグイン アクションを実行する前に OpenManage Enterprise アプライアンスのスナップショットを取得したことに同意する] オプションを選択してから、[無効化の確認] をクリックします。

OpenManage Enterprise を使用しているユーザー数と実行中のジョブに関する詳細が表示されます。

タスクの結果

Power Manager を無効にすると、OpenManage Enterprise で Power Manager に関連するすべての情報やページが表示されなくなります。

Identifier	GUID-5C7B6477-A5C0-404E-9DEB-65C5750EDDF6
Version	10
Status	Translation approved

有効化 Power Manager

Power Manager のすべての機能は、OpenManage Enterprise で有効化されます。Power Manager に固有の REST API は、[OpenManage Enterprise] でも有効になっています。

このタスクについて

 **メモ:** [OpenManage Enterprise] のプラグインを有効にすると、アプライアンス サービスが再起動します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[アプリケーション設定] > [コンソールとプラグイン] の順にクリックします。
[コンソールとプラグイン] タブが表示されます。
2. [Power Manager] セクションで、[有効化] オプションをクリックします。
[有効化] ページが表示されます。
3. [プラグインの有効化] をクリックします。
[確認] ページが表示されます。
4. [確認] ページで、[プラグイン アクションを実行する前に、OpenManage Enterprise アプライアンスのスナップショットを取得したことに同意する] を選択してから、[有効化の確認] をクリックします。

OpenManage Enterprise を使用しているユーザー数と実行中のジョブに関する詳細が表示されます。

Identifier	GUID-915C0791-7637-42D3-9C1B-A5F98996B6D0
Version	3
Status	Translation approved

個々のデバイスと静的グループの管理

Power Manager プラグインで既存の個々のデバイスまたは静的グループを削除します。

Identifier	GUID-0B15D19B-0D91-4398-A72A-C851421E8AE6
Version	11
Status	Translation approved

に追加されたデバイスとグループの表示 Power Manager

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループのみを表示できます。

Power Manager に追加されたデバイスまたはグループを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラゲイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
2. 追加されたデバイスとグループのリストを更新するには、[Power Manager 機能のリストを更新] をクリックします。
3. Power Manager に追加されたデバイスまたはグループを表示するには、次のいずれかを実行します。
 - 静的グループを表示するには、[静的グループ] タブをクリックします。
 - 物理グループを表示するには、[物理グループ] タブをクリックします。
 -  **メモ:** 物理グループの場所は、作成時にこの特定のグループに対して選択された階層に基づいて表示されます。
 - デバイスを表示するには、[個々のデバイス] タブをクリックします。
 - 個々のデバイスおよびグループの一部として Power Manager に追加されたすべてのデバイスを表示するには、[すべての監視対象デバイス] タブをクリックします。
4. オプション: 任意のタブのデータをフィルター処理して表示するには、次のようにします。
 - a. タブをクリックします。
 - b. [詳細フィルター] をクリックします。
 - c. フィルター カテゴリを選択します。[静的グループ] および [物理グループ] タブには、次のフィルターが表示されます。
 - グループ名[個々のデバイス] タブには、次のフィルターが表示されます。
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [名前]
 - [識別子]
 - [モデル]
 - [タイプ]
 - [管理状態][すべての監視対象デバイス] タブには、次のフィルターが表示されます。
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [名前]
 - [識別子]
 - [モデル]
 - [タイプ]
 - [管理状態]
 - [グループの一部]各フィルターの詳細については、[付録](#)を参照してください。
5. オプション: フィルターをクリアする場合は、[すべてのフィルターのクリア] をクリックします。
6. オプション: 列をアルファベット順に並べ替えるには、列名をクリックして矢印が列名と共に表示されるようにします。

Identifier	GUID-DF23F2C4-420A-4928-AA73-A024AE0F1A00
Version	11
Status	Translation Validated

デバイスの削除

デバイスの監視を停止するには、デバイスを Power Manager から削除します。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- 緊急時の電力削減 (EPR) がデバイスで有効になっていない。

このタスクについて

- メモ:** デバイスが [OpenManage Enterprise] で削除された場合、そのデバイスは Power Manager から自動的に削除されます。
- メモ:** デバイスを個別に、またはグループの一部として Power Manager に追加する場合、デバイスの監視を停止するには、デバイスのすべてのインスタンスが Power Manager から削除されていることを確認してください。

たとえば、デバイス マネージャー ユーザーとしてログインしている場合は、[個々のデバイス] タブで自分に割り当てられている物理グループからデバイスを削除できます。ただし、Power Manager からデバイスを削除した後で、デバイス マネージャー ユーザーとしてログインしたときに、Power Manager にデバイスを再追加することはできません。

デバイスを削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
2. [個別のデバイス] タブをクリックします。
[個別のデバイス] タブが表示されます。
3. 削除するデバイスを選択して [デバイスの削除] をクリックします。
[デバイスの削除] 確認用ウィンドウが表示されます。
4. 削除を確定するには、[削除] をクリックします。
デバイスは Power Manager から削除されます。

Identifier	GUID-005F9670-B7A5-42CA-85D6-6DF98BB90374
Version	12
Status	Translation Validated

グループの削除

グループの監視を停止するには、グループを Power Manager から削除します。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- 緊急時の電力削減 (EPR) オプションが、グループの一部である特定のデバイスで有効になっていない。

このタスクについて

グループを削除するには、次の手順を実行します。

- メモ:** グループまたはグループ内の特定のデバイスが [OpenManage Enterprise] から削除された場合、その変更は自動的に Power Manager に反映されます。
- メモ:** グループにポリシーを適用した後にグループを削除すると、そのポリシーも Power Manager から削除されます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
2. [静的グループ] タブをクリックします。
[静的グループ] タブが表示されます。
3. グループを選択し、[グループの削除] をクリックします。
[グループの削除] 確認用ウィンドウが表示されます。
4. 削除を確定するには、[はい] をクリックします。
グループが Power Manager から削除されます。

Identifier	GUID-2328B0C4-3BA7-4A13-BA8C-0CAD10C43166
Version	3
Status	Translation approved

物理グループの管理

Power Manager プラグインの既存の物理グループ内のデバイスを編集または再配置します。

Identifier	GUID-F687D7C1-E390-49EE-9374-BFBADE0CE418
Version	7
Status	Translation Validated

物理グループと階層の表示

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているデバイスおよびグループのみを表示できます。

このページを使用して、Power Manager で作成された物理グループを表示します。

メモ: 物理グループ内のデバイス（監視されていないデバイスを含む）の完全なリストを表示するには、[ラック ビュー] タブをクリックします。

物理グループを表示するには、次の手順を実行します。

手順

OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。

- a. [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。
- b. [物理階層] グループを展開して、作成されたすべての物理グループを表示します。

または

- a. [プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
- b. [物理グループ] をクリックします。

Power Manager で作成されたすべての物理グループは、名前、場所、グループ内のデバイスの総数、および Power Manager にいつ追加されたかに関する情報とともに表示されます。

メモ: 物理グループの場所は、作成時にこの特定のグループに対して選択された階層に基づいて表示されます。

Identifier	GUID-701B1C54-BE90-4D11-ABA9-79FBA64ECFEE
Version	9
Status	Translation Validated

ラックに追加されたデバイスの表示

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているデバイスおよびグループのみを表示できます。

物理グループのラックに追加されたデバイスを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。
 - a. [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。

- b. デバイスを表示するには、[物理階層] グループをラック レベルまで展開し、右クリックして、[ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。

または

- a. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] ページが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリーの一覧です。

- [グループ名]
- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]
- [タイプ]

カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。

- b. ラック名をクリックします。
[ラックの管理] ページが表示されます。

2. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] ページが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリーの一覧です。

- [グループ名]
- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]
- [タイプ]

カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。

3. [ラックの管理] ページに移動して、ラック内のデバイスを表示します。
ラックに追加されたすべてのデバイスが表示されます。
4. オプション: ページの右上にある [スペース容量] フィールドを表示して、ラック内で消費されているスペースの量を確認します。

Identifier	GUID-F9A1AD9E-3505-4402-B1C9-C27CAF5742A4
Version	7
Status	Translation Validated

物理グループのラックの表示

このタスクについて

-  **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、ラック ビューでデバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループのデバイスのみを表示できます。

ラック内のデバイスを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] ページが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリーの一覧です。

- [グループ名]
- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]

- [タイプ]

カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。

- Power Manager によって監視されているデバイスの [電源管理および監視] の詳細を表示するには、デバイス名をクリックします。

メモ: 物理グループに含まれている一部のデバイスは Power Manager に対応していないため、それらのデバイスにはリンクがありません。

デバイスの [電源管理および監視] の詳細が表示されます。

Identifier	GUID-D8758FA1-68A5-4331-BDEB-B97486CC682E
Version	5
Status	Translation Validated

物理グループの編集

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループとそのグループ内のデバイスのみを表示することができます。物理グループに対して、編集や別のラックへのデバイスの移動などの管理タスクを実行することはできません。

物理グループを編集するには、次の手順を実行します。

メモ: 物理グループを作成した後で、[グループ階層] を編集することはできません。

手順

- [OpenManage Enterprise] を起動します。
- [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。
- 物理グループを編集するには、次のいずれかを実行します。
 - [物理階層] セクションで、グループを展開し、グループを右クリックして、[グループの編集] を選択します。
[物理グループの編集] ページが表示されます。
 - メモ:** グループの電力容量は、グループ内のデバイスの電力消費量の合計であり、総電力量の推奨値が [電力容量] フィールドの下に表示されます。
 - 物理グループの電力またはスペース容量を編集するには、[物理階層] セクションでオプションをクリックし、[属性] をクリックします。
[グループ属性] ページが表示されます。
- 変更を加え、[完了] または [保存] をクリックします。

Identifier	GUID-623FC339-F46A-41A9-B29D-EA2F6579BCF8
Version	5
Status	Translation Validated

物理グループの削除

無効になった物理グループを削除します。

前提条件

緊急電力削減 (EPR) オプションが物理グループで無効になっていることを確認します。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループとそのグループ内のデバイスのみを表示することができます。物理グループに対して、編集や別のラックへのデバイスの移動などの管理タスクを実行することはできません。

物理グループを削除するには、次の手順を実行します。

メモ: グループにポリシーを適用した後にグループを削除すると、そのポリシーも Power Manager から削除されます。

手順

1. [OpenManage Enterprise] を起動します。
2. [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。
3. [物理階層] セクションで、削除するグループに移動し、グループを右クリックして、[グループの削除] をクリックします。
4. 確認画面で [はい] をクリックします。

タスクの結果

グループが削除されます。

Identifier	GUID-C9F35671-1D34-4867-A6BD-9D953D4A6C7D
Version	4
Status	Translation Validated

デバイスのラック スロットの再配置

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループとそのグループ内のデバイスのみを表示することができます。物理グループに対して、編集や別のラックへのデバイスの移動などの管理タスクを実行することはできません。

ラック内のデバイスのラック スロットを再配置するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。
 - a. [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。
 - b. デバイスを表示するには、[物理階層] グループをラック レベルまで展開し、右クリックして、[ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。

または

- a. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] ページが表示されます。
オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリの一覧です。
 - [グループ名]
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [タイプ]カテゴリ選択し、フィルターされたデータを表示します。
 - b. ラック名をクリックします。
[ラックの管理] ページが表示されます。
2. ラックの垂直スクロールバーを使用して移動するデバイスを見つけ、デバイスを選択します。
 3. [ラックの並べ替え] をクリックします。
[ラック スロットのアップデート] ページが表示されます。
 4. デバイスのスロットを変更するには、ドロップダウン メニューをクリックして、空のスロットを選択します。

5. [終了] をクリックします。
デバイス スロットがアップデートされます。

Identifier	GUID-F05ACAB1-2A17-4782-A838-4F6C027807ED
Version	5
Status	Translation Validated

別のラックへのデバイスの移動

データ センターの変更に基づいて、物理グループ内のデバイスの場所を変更することができます。

前提条件

目的のラックで緊急時の電力削減 (EPR) が有効になっていないことを確認します。

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループとそのグループ内のデバイスのみを表示することができます。物理グループに対して、編集や別のラックへのデバイスの移動などの管理タスクを実行することはできません。

デバイスを同じ物理グループ内の別のラックまたは別の物理グループに移動するには、次の手順を実行します。

手順

- OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。
 - [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。
 - デバイスを表示するには、[物理階層] グループをラック レベルまで展開し、右クリックして、[ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。
または
 - OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] ページが表示されます。
オプション: データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリーの一覧です。
 - [グループ名]
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [タイプ]カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。
 - ラック名をクリックします。
[ラックの管理] ページが表示されます。
- デバイスを別のラックに移動するには、[デバイスを別のラックに移動] をクリックします。
[グループの選択] ページが表示されます。
- オプション: データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] をクリックします。
[グループ名] フィールドを使用してグループを検索します。
フィルターをクリアする場合は、[すべてのフィルターのクリア] をクリックします。
- ラックを選択し、[移動] をクリックします。
デバイスが新しいラックに移動します。

Identifier	GUID-330D9B9E-C66A-4742-BBE6-22EE5500FCF9
Version	4
Status	Translation Validated

ラックからのデバイスの削除

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー ユーザーとしてログインしている場合は、[個々のデバイス] タブで自分に割り当てられている物理グループからデバイスを削除できます。ただし、Power Manager からデバイスを削除した後で、デバイス マネージャー ユーザーとしてログインしたときに、Power Manager にデバイスを再追加することはできません。

ラックからデバイスを削除するには、次の手順を実行します。

手順

- OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。
 - [デバイス] ページの左ペインで、[プラグイン グループ] セクションを展開します。
 - デバイスを表示するには、[物理階層] グループをラック レベルまで展開し、右クリックして、[ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。
 または
 - OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] ページが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリの一覧です。

 - [グループ名]
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [タイプ]

カテゴリ選択し、フィルターされたデータを表示します。

 - ラック名をクリックします。
[ラックの管理] ページが表示されます。
- 削除するデバイスを選択して、[ラックからデバイスを削除] をクリックします。
- 確認ページで、[はい] をクリックします。
ラックからデバイスが削除されます。

Identifier	GUID-5B8267AF-2734-46B3-9242-EE3B450FA338
Version	2
Status	Translation approved

アラートしきい値の維持

Identifier	GUID-D4DE0C04-5DA5-4C15-B2FB-EF015CA6550B
Version	10
Status	Translation Validated

アラートのしきい値の表示

設定されたアラートしきい値に基づいて、デバイスまたはグループのステータスを表示します。

前提条件

Power Manager にデバイスまたはグループが追加されていることを確認します。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のグループおよびデバイスに対して、すべてのデバイス マネージャー ユーザーまたは管理者が構成したすべてのアラートしきい値を表示して管理できます。

電力および温度のアラートしきい値グラフを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. [OpenManage Enterprise] で、次のいずれかの手順を実行します。

- デバイスの場合：
 - a. [デバイス] タブをクリックします。
OpenManage Enterprise で検出されたすべてのデバイスが表示されます。
 - b. デバイスの一覧で、デバイス名をクリックします。
デバイスの詳細が [概要] ページに表示されます。
 - c. Power Manager の関連情報を表示するには、[電源管理と監視] タブをクリックします。

- 静的グループの場合：
 - a. [デバイス] > [静的グループ] > [グループ名] をクリックします。
静的グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - b. Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。

- 物理グループの場合、次のいずれかの手順を実行します。
 - a. [デバイス] > [物理階層] > [グループ名] の順にクリックします。
物理グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。

- b. Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。

または

- a. OpenManage Enterprise を起動し、[プラゲイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] タブが表示されます。

オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリの一覧です。

- [グループ名]
- [正常性状態]
- [電源状況]
- [接続状態]
- [タイプ]

カテゴリ選択し、フィルターされたデータを表示します。

- b. デバイス名または IP アドレスをクリックします。

2. [アラートしきい値] タブで電力と温度のステータスを表示します。

[収集時刻] フィールドには、最後の収集時刻が表示されます。

スケール上のポイントは、電力と温度の平均データを示します。

Power Manager は、デバイスおよび収集された以前の測定の電力と温度の最小値と最大値を表示します。しきい値が設定されていない場合、またはしきい値の値がオフになっている場合、スケールは無効になります。上限および下限の警告と重要な値は、しきい値が設定されている場合にのみ表示されます。違反に関する詳細情報を表示するには、[アラート] ページの [アラート ログ] および [監視] ページの [監査ログ] を参照してください。

Identifier	GUID-6316A8E4-CCAE-49B0-BF5E-6C35491215D5
Version	8
Status	Translation Validated

アラートしきい値の編集

デバイス使用率の変更またはグループ メンバーシップでのアップデートに基づいて、アラートしきい値をアップデートします。

前提条件

Power Manager にデバイスまたはグループが追加されていることを確認します。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のグループおよびデバイスに対して、すべてのデバイス マネージャー ユーザーまたは管理者が構成したすべてのアラートしきい値を表示して管理できます。

デバイスまたはグループのしきい値を編集するには、次の手順を実行します。

手順

- [OpenManage Enterprise] で、次のいずれかの手順を実行します。
 - デバイスの場合：
 - [デバイス] タブをクリックします。
OpenManage Enterprise で検出されたすべてのデバイスが表示されます。
 - デバイスの一覧で、デバイス名をクリックします。
デバイスの詳細が [概要] ページに表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[電源管理と監視] タブをクリックします。
 - 静的グループの場合：
 - [デバイス] > [静的グループ] > [グループ名] をクリックします。
静的グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。
 - 物理グループの場合、次のいずれかの手順を実行します。
 - [デバイス] > [物理階層] > [グループ名] の順にクリックします。
物理グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。
- または
 - OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] タブが表示されます。
オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリーの一覧です。
 - [グループ名]
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [タイプ]
 カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。
 - デバイス名または IP アドレスをクリックします。
- [アラートしきい値] セクションで、[編集] をクリックします。
[アラートしきい値の編集] ページが表示されます。
- 値を提供し、[適用] をクリックします。
しきい値が正常にアップデートされます。

Identifier	GUID-C24264ED-34EF-4DB5-8AC8-8AE28ECC6AFB
Version	9
Status	Translation Validated

アラートしきい値の削除

デバイスまたはグループで構成されているしきい値を削除するには、すべてのしきい値をクリアします。

このタスクについて

-  **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のデバイスに対してのみ、アラートしきい値を作成し、他のデバイス マネージャー ユーザーが作成したアラートしきい値を管理できます。

アラートのしきい値を削除するには、次の手順を実行します。

手順

- [OpenManage Enterprise] で、次のいずれかの手順を実行します。
 - デバイスの場合：
 - [デバイス] タブをクリックします。
OpenManage Enterprise で検出されたすべてのデバイスが表示されます。
 - デバイスの一覧で、デバイス名をクリックします。
デバイスの詳細が [概要] ページに表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[電源管理と監視] タブをクリックします。
 - 静的グループの場合：
 - [デバイス] > [静的グループ] > [グループ名] をクリックします。
静的グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。
 - 物理グループの場合、次のいずれかの手順を実行します。
 - [デバイス] > [物理階層] > [グループ名] の順にクリックします。
物理グループの一部であるすべてのデバイスが表示されます。
 - Power Manager の関連情報を表示するには、[グループの詳細] をクリックします。

または

 - OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックします。
[ラック ビュー] タブが表示されます。
オプション：データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] オプションを展開します。以下は、選択可能なカテゴリーの一覧です。
 - [グループ名]
 - [正常性状態]
 - [電源状況]
 - [接続状態]
 - [タイプ]
 カテゴリー選択し、フィルターされたデータを表示します。
 - デバイス名または IP アドレスをクリックします。
- [アラートしきい値] セクションで、[編集] をクリックします。
[アラートしきい値の編集] ページが表示されます。
- すべてのしきい値を削除するには、既存のすべてのしきい値をクリアして、[適用] をクリックします。

Identifier	GUID-3FC7A13A-245A-4B37-A512-9496CA15B4F9
Version	2
Status	Translation approved

ポリシーのメンテナンス

Identifier	GUID-62265518-D34B-426D-9BED-A4BFC095BCDC
Version	12
Status	Translation Validated

ポリシーの表示

Power Manager でデバイスおよびグループに対して作成したすべてのポリシーを表示します。

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーによって作成されたポリシーのみを表示し、これらのポリシーをデバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のグループのみに適用できます。ただし、管理者は、すべてのデバイス マネージャー ユーザーによって作成されたすべてのポリシーにアクセスできます。

ポリシーを表示するには、次の手順を実行します。

手順

OpenManage Enterprise で、次のいずれかを実行します。

- Power Manager で作成したすべてのポリシーを表示するには、次の操作を行います。

[プラグイン] > [電源管理] > [ポリシー] の順にクリックします。

[ポリシー] タブが表示されます。

フィルターのカテゴリを選択して、データを表示します。以下は、選択可能なカテゴリの一覧です。

- [状態]: ポリシーの状態に基づいてポリシーをフィルター処理します。サポートされているフィルターは、[すべて]、[有効]、および [無効] です。
- [名前]: ポリシーの名前に基づいてポリシーをフィルター処理します。
- [説明]: ポリシーの説明に基づいてポリシーをフィルター処理します。
- [タイプ]: ポリシーのタイプに基づいてポリシーをフィルター処理します。サポートされているフィルターは、[すべて]、[静的]、および [温度でトリガー] です。
- [割り当て先]: 割り当て先デバイスまたはグループに基づいてポリシーをフィルター処理します。

データをフィルターおよび表示するには、[詳細フィルター] をクリックします。

フィルターをクリアする場合は、[すべてのフィルターのクリア] をクリックします。

列をアルファベット順にソートするには、列名をクリックして、列名とともに矢印が表示されるようにします。

- デバイス用に作成されたすべてのポリシーを表示するには、[デバイス] > [電源管理と監視] > [ポリシー] をクリックします。

デバイスに適用されているすべてのポリシーが詳細とともに表示されます。

- グループに対して作成されたすべてのポリシーを表示するには、[デバイス] をクリックし、静的メンバーシップを持つカスタム グループをクリックし、[グループの詳細] をクリックして、[ポリシー] をクリックします。

グループに適用されるポリシーが、詳細とともに表示されます。

Identifier	GUID-5D3F2135-5F45-4DD0-BFD5-B097B9C76A55
Version	12
Status	Translation Validated

ポリシーの編集

デバイスまたはグループによって生成される電力消費履歴または平均吸気温度の変化に基づいてポリシーをアップデートします。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーが作成したポリシーのみ編集できます。

グループ メンバーシップに変更があり、グループにアクティブなポリシーがある場合、Power Manager はグループに関連付けられたポリシーを再評価するように通知します。

メモ: デバイスのポリシーを作成した後、そのポリシーをグループに適用することはできません。同様に、グループのポリシーを作成した後、そのポリシーをデバイスに適用することはできません。

メモ: 温度でトリガーされるポリシーでは、EPR の適用後に温度しきい値が増加すると、更新された温度しきい値がグループの平均温度よりも大きい場合に、EPR が Power Manager によって自動的に削除されます。

ポリシーを編集するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ポリシー] の順にクリックします。
[ポリシー] タブが表示されます。
2. ポリシーを選択して、[編集] をクリックします。
電力ポリシー ウィザードが表示されます。
ウィザードの各フィールドの詳細については、「[電源または温度でトリガーされるポリシーの作成](#)」を参照してください。
3. 変更を保存するには、[完了] をクリックします。
変更が正常に保存されます。

Identifier	GUID-0E2C7CA3-1652-4FBC-B565-9ABD5B609266
Version	11
Status	Translation Validated

ポリシーの無効化

電力消費または温度ポリシーの制限を削除するには、関連するポリシーを無効にします。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーが作成したポリシーのみ無効にすることができます。

ポリシーを無効にするには、次のいずれかの手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ポリシー] の順にクリックします。
[ポリシー] タブが表示されます。
2. 次の方法のいずれかを実行します。
 - a. 無効化するポリシーを選択し、[無効化] をクリックします。
 - b. 確認ウィンドウで [はい] をクリックします。
または
 - a. 無効化するポリシーを選択して、[編集] をクリックします。
[ポリシーの作成] ウィザードが表示されます。
 - b. [全般] セクションで、[有効化] チェックボックスをオフにして、[サマリー] セクションが表示されるまで [次へ] をクリックし、[完了] をクリックします。
ポリシーが正常に無効化されます。

Identifier	GUID-4013C319-65F3-4251-9ADA-E23C23E168FF
Version	11
Status	Translation Validated

ポリシーの有効化

ポリシーを有効にすると、デバイスまたはグループで電力または温度の上限がアクティブになります。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーが作成したポリシーのみを有効にすることができます。

ポリシーを有効にするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ポリシー] の順にクリックします。
[ポリシー] タブが表示されます。
2. 次のいずれかの方法でポリシーを有効にします。
 - 有効化するポリシーを選択し、[有効化] をクリックします。
 - ポリシーの作成時または編集時に、[電力ポリシーの作成] ウィザードから [有効化] オプションを選択します。
3. 確認ウィンドウで [はい] をクリックします。
ポリシーが正常に有効になると、ポリシーに対して目盛マークが表示されます。

Identifier	GUID-1D817A1C-7F0B-4BCA-8914-21FD17B3C59C
Version	10
Status	Translation Validated

ポリシーの削除

不要になったポリシーを削除します。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーが作成したポリシーのみ削除できます。

アクティブなポリシーが削除されると、ポリシーによって適用される電力消費制限または温度しきい値もすべて削除されます。

メモ: 温度でトリガーされるアクティブなポリシーを削除すると、緊急時の電力削減 (EPR) がグループから自動的に削除されます。

ポリシーを削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [ポリシー] の順にクリックします。
[ポリシー] タブが表示されます。
2. 削除するポリシーを選択し、[削除] をクリックします。
3. 確認ウィンドウで [はい] をクリックします。
ポリシーが正常に削除されます。

Identifier	GUID-025474DE-DFEA-4A1A-894A-92DEEC368FD8
Version	1
Status	Translation Validated

監視されていないデバイスの管理

Identifier	GUID-50CF4A19-7563-4C1C-A70E-DB87955EFFF9
Version	7
Status	Translation Validated

詳細の表示 監視されていないデバイス

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲内のグループに含まれている監視対象外のデバイスを表示できます。

デバイスの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] の順にクリックします。
[Power Manager デバイス] タブが表示されます。
2. [監視対象外] > [監視対象外のデバイス] の順にクリックします。
すべての監視されていないデバイスの詳細が [監視されていないデバイス] タブに一覧表示されます。
監視対象外のデバイスをラックの下の物理グループに追加すると、そのデバイスの場所とラック スロットの列が表示されます。

Identifier	GUID-CDCECF34-876D-43C5-B7D8-E2577E0E584E
Version	5
Status	Translation Validated

監視されていないデバイスの詳細を編集

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のグループの一部である監視対象外のデバイスの情報を表示することはできますが、編集することはできません。

デバイスの詳細を編集するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] > [監視対象外] > [監視対象外のデバイス] の順にクリックします。
[監視されていないデバイス] タブが表示されます。
2. デバイスを選択して、[編集] をクリックします。
フィールドの値の詳細については、「[監視されていないデバイスの詳細の追加](#)」の「[監視されていないデバイスの詳細]」を参照してください。
3. 詳細を入力し、[終了] をクリックします。

Identifier	GUID-4C451E75-1B03-4E71-ADF9-A13896F5E044
Version	6
Status	Translation Validated

削除 監視されていないデバイス

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内のグループの一部である監視対象外のデバイスの情報を表示することはできますが、編集することはできません。

監視対象外のデバイスを削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[プラグイン] > [電源管理] > [Power Manager デバイス] > [監視対象外] > [監視対象外のデバイス] の順にクリックします。
[監視されていないデバイス] タブが表示されます。
2. デバイスを選択し、[削除] をクリックします。
3. 確認画面で [はい] をクリックします。

Identifier	GUID-F8E4C098-8DA6-429F-B653-6294598DC053
Version	1
Status	Translation approved

PDU デバイスの管理

Identifier	GUID-C1D3EBB9-6348-4020-870D-B58AFBBA142D
Version	3
Status	Translation Validated

ラックに関連づけられた PDU を Power Manager で表示

特定のラックに関連づけられたすべての配電ユニット (PDU) を 1 ページに表示します。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループの一部であるすべての PDU デバイスのみを表示できます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。
 - [プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックし、右クリックして [ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。
または
 - a. [デバイス] をクリックします。
[デバイス] ページが表示されます。
 - b. [プラグイン グループ] > [物理階層] の順にクリックして、ラック レベルまで展開してグループを右クリックし、[ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。
2. PDU を表示するには、[関連づけられたデバイス] タブをクリックします。
このラックに関連づけられているすべての PDU がすべての詳細とともに一覧表示されます。

Identifier	GUID-EDD1E643-2797-40C3-AF65-0AC5A039CC9F
Version	1
Status	Translation Validated

OpenManage Enterprise で検出された PDU の表示

OpenManage Enterprise で検出した PDU の詳細を表示します。

このタスクについて

- メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループの一部であるすべての PDU デバイスのみを表示できます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[デバイス] をクリックします。
2. [すべてのデバイス] を展開して [PDU デバイス] をクリックし、PDU デバイスをクリックします。
[概要] タブが表示されます。
3. その PDU に関するすべての情報が表示されます。
4. IP アドレスの詳細を表示するには、[ハードウェア] タブをクリックします。
[デバイス管理情報] タブに、デバイスの IP および MAC アドレスが URL および名前とともに表示されます。
 - NIC カードの詳細を表示するには、[NIC 情報] セクションをクリックします。
MAC、IPv4 アドレス、サブネット マスクの情報が表示されます。

- メモ:** ネットワーク インターフェイス コントローラー (NIC) 情報は、APC by Schneider Electric 製の PDU に関してのみ表示できます。

- コンセント番号、名前、電力定格などの PDU コンセント情報を表示するには、[PDU コンセント情報] セクションをクリックします。

このページで実行できる操作の詳細については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』の [デバイスの管理] を参照してください。

Identifier	GUID-CBF2C33F-49FF-45A2-812D-92046F170C60
Version	3
Status	Translation Validated

PDU デバイスの削除

故障したか、または古くなって使用されなくなった配電ユニット (PDU) デバイスをラックから削除します。

このタスクについて

- メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーの権限適用範囲内に定義されているグループの一部である PDU デバイスは削除できません。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、次のいずれかの手順を実行します。
 - [プラグイン] > [電源管理] > [ラック ビュー] の順にクリックし、右クリックして [ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。
または
 - a. [デバイス] をクリックします。
[デバイス] ページが表示されます。

- b. [プラグイン グループ] > [物理階層] の順にクリックして、ラック レベルまで展開してグループを右クリックし、[ラックの管理] オプションを選択します。
[ラックの管理] ページが表示されます。
2. PDU デバイスを削除するには、[関連付けられたデバイス] タブをクリックします。
3. デバイスを選択して、[デバイスの削除] をクリックします。
4. 確認画面で [はい] をクリックします。
PDU デバイスがラックから正常に削除されます。

Identifier	GUID-9B225949-E04C-4B35-B81E-46C7528F7E86
Version	11
Status	Translation approved

アンインストール Power Manager

Power Manager をアンインストールし、Power Manager によって収集されたすべてのデータを削除します。

前提条件

次の動作条件が満たされていることを確認します。

- 緊急時の電力削減（EPR）がデバイスで有効になっていない。[緊急時の電力削減] ページのすべてのデバイスおよびグループの EPR ステータスを表示します。
- アクティブなポリシーがありません。

OpenManage Enterprise を使用しているユーザー数と実行中のジョブに関する詳細が表示されます。

このタスクについて

Power Manager をアンインストールした後も、iDRAC のテレメトリー構成がターゲット サーバーで有効になっている。

Power Manager によって有効化されるテレメトリー サービスのリストについては、[[対応プロトコル](#)] を参照してください。

これらの構成を無効にするには、次のいずれかの操作を実行します。

- OpenManage Enterprise で無効化されたテレメトリー ストリーミング構成を使用してサーバー構成テンプレートを作成し、すべてのターゲット デバイスにテンプレートを導入します。
- 各デバイスの iDRAC で、テレメトリー サービスを手動で無効にします。

Power Manager をアンインストールするには、次の手順を実行します。

手順

1. [OpenManage Enterprise] を起動します。
2. [アプリケーションの設定] で、[コンソールと拡張機能] タブをクリックします。
[コンソールと拡張機能] ページが表示されます。
3. [Power Manager] セクションで、[アンインストール] オプションをクリックします。
[拡張機能のアンインストール] ページが表示されます。
4. [拡張機能のアンインストール] をクリックします。
[確認] ページが表示されます。
5. [確認] ページで、[プラグイン アクションを実行する前に、OpenManage Enterprise アプライアンスのスナップショットを取得したことに同意する] を選択してから、[アンインストールの確認] をクリックします。

OpenManage Enterprise を使用しているユーザー数と実行中のジョブに関する詳細が表示されます。

タスクの結果

Power Manager をアンインストールすると、OpenManage Enterprise で Power Manager に関連する情報やページが表示されなくなります。

Identifier	GUID-945951A9-3194-4A4B-BB56-984FD4A18C00
Version	2
Status	Translation Validated

アラート

アラートは、しきい値を監視する場合、デバイスまたはグループの電源が設定された制限を超えるとときに通知を受け取りたい場合、または監視対象グループに変更がある場合に役立ちます。

アラートは、次のような状況で生成されます。

- 値がアラート定義されたアラートしきい値を超えた場合
- デバイスまたはグループの値が通常の状態に戻った場合
- アクティブなポリシーのポリシー上限に違反している場合
- アクティブなポリシーが適用されているグループに変更がある場合
- グループにポリシーが適用され、新しいデバイスが追加されているか、デバイスがグループから削除されている場合

[[OpenManage Enterprise]] > [[アラート]] > [[アラート ログ]] の順に移動すると、アラートを表示できます。

アラートの管理については、『OpenManage Enterprise ユーザーズガイド』を参照してください。

トピック：

- [アラート ポリシーの作成](#)

Identifier	GUID-891F84D7-595B-408F-98D4-C1A7C9244F97
Version	4
Status	Translation approved

アラート ポリシーの作成

Power Manager アラートを受信するには、アラート ポリシーの作成時に、Power Manager-固有のサブカテゴリを選択します。

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合、スコープ内のグループでのみ、デバイス マネージャー DM1 ユーザーおよび他のデバイス マネージャー ユーザーによって作成されたアラート ポリシーを表示できます。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動し、[アラート] > [アラート ポリシー] の順にクリックします。
[アラート ポリシー] ページが表示されます。
2. [アラート ポリシー] ページで、[作成] をクリックします。
[アラート ポリシーの作成] ウィザードが表示されます。
3. ポリシーの名前と説明を入力します。
作成後にポリシーを有効にするために、[有効] オプションがデフォルトで選択されています。
4. [カテゴリ] セクションで、[アプリケーション] > [システム正常性] カテゴリを展開し、Power Manager アラートに対して次のサブカテゴリを選択して、[次へ] をクリックします。
 - [メトリック]: アラートしきい値に違反するとアラートを受信します。
 - [電力設定]: ポリシーの上限に違反するとアラートを受信します。
5. [ターゲット] セクションで、必要な Power Manager デバイスまたはグループを選択し、[次へ] をクリックします。
6. [日付と時刻] セクションで、ポリシーをアクティブにする必要がある期間を指定し、ポリシーをアクティブにする日を選択して、[次へ] をクリックします。

7. [重要度] セクションで、アラートの重大度レベルを選択します。
すべての重大度カテゴリーを選択する場合は、[すべて] チェックボックスを選択します。
8. [アクション] セクションで、ポリシー実行時に開始されるアクションのチェックボックスを1つまたは複数選択し、[次へ] をクリックします。
9. [サマリー] セクションで情報を確認し、[終了] をクリックします。
アラート ポリシーが正常に作成され、[アラート ポリシー] セクションに一覧表示されます。
アラートの作成および管理の詳細については、『*OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

Identifier	GUID-85D2C446-7F67-436F-920C-5DB7F5D32EFD
Version	6
Status	Translation Validated

のレポート Power Manager

レポートには、特定のデバイスに関する情報、またはデータ センターを構成するグループ、ジョブ、アラートなどのデバイス部分に関する情報が含まれています。Power Manager では、組み込みレポートとユーザー定義レポートがサポートされています。Power Manager のデバイスおよびグループのステータスを確認するには、これらのレポートをダウンロードします。

OpenManage Enterprise の他のデバイスの詳細とともに Power Manager の詳細を含むカスタマイズされたレポートを作成できます。

統合レポートに使用される定義と属性は編集または削除できませんが、カスタマイズされたレポートは編集または削除できます。

レポートの実行と E メールでの送信、またはカスタム レポートの削除については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』を参照してください。

トピック：

- [カスタムレポートの作成](#)
- [レポートの表示とダウンロード](#)

Identifier	GUID-1D0128E0-2CAE-484A-B6A5-6004376EADED
Version	11
Status	Translation Validated

カスタムレポートの作成

カスタム レポートを作成して、特定のデバイスまたはグループの一部であるデバイスの詳細レポートを表示します。

このタスクについて

 **メモ:** デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているグループに対してのみ、カスタム レポートを作成できます。カスタム レポートは共有リソースではないため、同じグループで作成されたカスタム レポートを他のデバイス マネージャー ユーザーが表示することはできません。

 **メモ:** カスタム レポートが Power Manager カテゴリとともに作成される場合、これらのカテゴリは、Power Manager が無効になると非表示になるか、Power Manager がアンインストールされると削除されます。

カスタムレポートを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. [OpenManage Enterprise] を起動し、[監視] > [レポート] をクリックします。
[レポート] ページが表示されます。
2. [作成] をクリックします。
[レポートの定義] ページが表示されます。
3. 名前と説明を入力し、[次へ] をクリックします。
4. [カテゴリ] で、次のいずれかを選択し、確認画面で [はい] をクリックします。
 - Power Manager デバイスのデータを表示するには、次の手順を実行します。
 - a. [Power Manager デバイス] を選択します。
 - b. 確認ページで [はい] をクリックします。
 - c. [デバイス グループ] で、必要なシステム グループを選択、または検索ボックスを使用してデバイスを検索します。
 - Power Manager グループのデータを表示するには、次の手順を実行します。

- a. [Power Manager グループ] を選択します。
 - b. 確認ページで [はい] をクリックします。
5. オプション: クエリを作成するには、[フィルター] セクションにある [編集] をクリックします。クエリを作成し、[終了] をクリックします。クエリの作成の詳細については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』を参照してください。
 6. [列の選択]、[順序]、および [並べ替え] では、カテゴリを展開し、チェックボックスを使用して必須入力フィールドを選択して [列の順序] ボックスに追加します。
[デバイスのメトリックのしきい値] と [デバイスの電力と温度のメトリック] 列は、Power Manager デバイスの場合にのみ自動的に入力されます。
[グループ]、[グループ メトリックのしきい値]、[グループ ポリシー]、[グループの電力と温度のメトリック]、[物理グループの電力ヘッドルーム]、および [物理グループの容量ヘッドルーム] 列には、Power Manager グループのみが入力されます。
 7. フィールドを基準に並べ替えるには、[並べ替え基準] ドロップダウン メニューを使用し、昇順または降順で値を並べ替えるには、[方向] ドロップダウン メニューを使用します。
 - [メトリックのしきい値] 収集から任意の列を選択した場合、表示する情報の [メトリック タイプ] を選択します。
 - [電力と温度のメトリック] 収集から任意の列を選択した場合には、情報を表示する [レポート期間] と [集約期間] を選択します。

メモ: カスタム レポートを作成するときに、[レポートの期間] が [1 日] 以外の場合は、[毎日] を [集約期間] オプションとして確実に選択してください。
 8. 追加されたフィールドをレビューしてから [終了] をクリックします。

Identifier	GUID-41C839B8-6817-42A2-9261-7AB40C128F22
Version	11
Status	Translation approved

レポートの表示とダウンロード

統合レポートやカスタム レポートを実行し、レポートを表示またはダウンロードします。

このタスクについて

メモ: デバイス マネージャーとしてログインしている場合は、自分の権限適用範囲に含まれているデバイス グループとデバイスのみを表示および管理できます。

たとえば、デバイス マネージャー DM1 ユーザーとしてログインしている場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーに割り当てられているデバイスおよびグループのすべての統合レポートを表示できます。ただし、デバイス マネージャー DM1 ユーザーがカスタム レポートを作成した場合は、デバイス マネージャー DM1 ユーザーと管理者のみがこれらのレポートにアクセスして表示できます。

メモ: レポートは、[Power Manager の設定] ページの [レポート期間] と [集計期間] での選択に基づいて生成されます。

レポートを表示およびダウンロードするには、次の手順を実行します。

手順

1. [OpenManage Enterprise] を起動し、[監視] > [レポート] をクリックします。
[レポート] ページが表示されます。
リストされたデバイスとグループの詳細を含む次の統合レポートは、OpenManage Enterprise の [レポート] タブから Power Manager 関連のデータに利用できます。
 - [Power Manager : デバイスのメトリックしきい値レポート]: デバイス名、デバイスの詳細、メトリック タイプ、デバイスに対して設定されているしきい値、定義されたしきい値を超過した回数など、すべての Power Manager デバイスのメトリックおよびアラートしきい値の詳細が表示されます。
 - [Power Manager : グループのメトリックしきい値レポート]: グループ名、メトリック タイプ、グループに対して設定されているしきい値、定義されたしきい値を超過した回数など、すべての Power Manager グループのアラートしきい値の詳細が表示されます。
 - [Power Manager : グループのポリシー レポート]: グループ名、ポリシー名、ポリシー タイプ、ポリシーが有効かどうか、ポリシーがアクティブかどうか、電力上限、温度しきい値、違反回数など、Power Manager ポリシーのすべての詳細が表示されます。
 - [Power Manager : デバイスの電力および温度レポート]: デバイス名、デバイスの詳細、電力と温度の値、電力消費量、データが収集された時刻など、Power Manager デバイスのすべての電力と温度の詳細が表示されます。

- [Power Manager : グループの電力および温度レポート]: グループ名、グループの電力と温度の値、電力消費量、データが収集された時刻など、Power Manager グループのすべての電力と温度の詳細が表示されます。
- [Power Manager : 物理グループの電力ヘッドルーム レポート]: グループに割り当てられている総電力消費量とグループに割り当てられている残りの電力を表示します。
 **メモ:** 電力ヘッドルーム レポートの場合、選択したレポート期間の最大電力値ではなく、未使用電力の計算の対象となった電力値が最新のメトリックです。
- [Power Manager : 物理グループの容量ヘッドルーム レポート]: デバイスによって消費されている合計スペースを表示し、残りのラック スペースに関する情報を提供します。
- [Power manager : 仮想マシンのパフォーマンス レポート]: Power Manager で監視されている仮想マシンによって消費される CPU 数、CPU 使用率、電力、電力消費量が表示されます。

2. 表示するレポートを見つけて選択します。

3. レポートを実行して表示するには、[実行] をクリックします。
 レポートが表示されます。

4. レポートをダウンロードするには、[ダウンロード] をクリックしてください。
 [ダウンロードレポート] ページが表示されます。

5. レポートをダウンロードするには、必要なフォーマットを選択し、[終了] をクリックします。

Power Manager では、次の形式でのレポートをダウンロードできます。

- HTML
- CSV
- PDF
- XLS

レポートが、選択されたフォーマットでダウンロードされます。

Identifier	GUID-8E67AFF0-2339-4790-AFAA-FBB0041B915B
Version	2
Status	Translation approved

アップデート Power Manager

このタスクについて

OpenManage Enterprise から Power Manager をアップデートするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise の最新バージョンを使用していない場合は、OpenManage Enterprise を最新の互換性のある Power Manager バージョンにアップグレードします。

OpenManage Enterprise を使用する Power Manager の互換性のあるバージョンのリストについては、『[OpenManage Enterprise と互換性のある Power Manager のバージョン](#)』を参照してください。OpenManage Enterprise のアップグレードの詳細については、『OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド』を参照してください。

2. リポジトリの場所を設定し、アップデートをチェックします。詳細については、『[Power Manager OpenManage Enterprise の構成](#)』を参照してください。
3. Power Manager をアップグレードします。詳細については、『[Power Manager のアップグレード](#)』を参照してください。

トピック：

- [Power Manager の更新用に OpenManage Enterprise を構成する](#)
- [アップグレード Power Manager](#)

Identifier	GUID-78454FAF-E420-4923-9BE7-927B8A4FE69B
Version	3
Status	Translation approved

Power Manager の更新用に OpenManage Enterprise を構成する

このタスクについて

downloads.dell.com または offline location で Power Manager のアップデートを確認します。OpenManage Enterprise を設定してアップデートを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[アプリケーション設定] > [コンソールとプラグイン] の順にクリックします。
[コンソールとプラグイン] タブが表示されます。
2. アップデートを設定するには、[アップデートの設定] をクリックします。
[アップデートの設定] ページが表示されます。
3. [アップデートのチェック方法] で、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [自動]: アップデートを毎週自動でチェックします。この頻度は変更できません。
 - [手動]: アップデートを手動でチェックします。

4. [アップデートのチェック場所] で、次のいずれかのオプションを選択し、[適用] をクリックします。
 - [オンライン] — downloads.dell.com でアップデートを確認します。
 - [オフライン]: 指定されたオフライン ソースのアップデートをチェックします。

内部ネットワーク共有をオフラインアップデート ソースとして使用するには、downloads.dell.com から関連ファイルをダウンロードし、同じフォルダ構造を保持する NFS 共有に保存します。

- a. [ローカルパス] で、ダウンロードしたファイルの場所を指定します。ネットワーク共有の形式は、`nfs://<IP Address>/<Folder_Name>`、`http://<IP Address>/<Folder_Name>`、または `https://<IP Address>/<Folder_Name>` です。
- b. 接続を確認するには、[今すぐテスト] をクリックします。

Identifier	GUID-4C7E1A9C-2167-4CAF-8FE5-EA02159EFCA0
Version	10
Status	Translation approved

アップグレード Power Manager

前提条件

アップグレードする予定の Power Manager のバージョンが、OpenManage Enterprise バージョンと互換性があることを確認してください。詳細については、「[OpenManage Enterprise と互換性のある Power Manager のバージョン](#)」を参照してください。

このタスクについて

Power Manager を更新するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpenManage Enterprise を起動して、[アプリケーション設定] > [コンソールとプラグイン] の順にクリックします。
[コンソールとプラグイン] タブが表示されます。
2. [Power Manager] セクションで、[利用可能なアップデート] をクリックします。
[プラグインのアップデート] ページが表示されます。
3. このバージョンのアップデートを表示するには、[リリース ノート] リンクをクリックします。
サポート ページが表示されます。
4. アップデートをダウンロードするには、[プラグインのダウンロード] をクリックします。
[アップデート時にプラグインを有効にする] オプションがデフォルトで選択されています。
アップグレード後にプラグインを無効にする場合は、[アップデート時にプラグインを有効にする] オプションをオフにします。

プラグインがダウンロードされ、ダウンロードのステータスが緑色のバーに表示されます。
5. Power Manager をアップデートするには、[プラグインのアップデート] をクリックします。
6. [エンドユーザー ライセンス契約] ウィンドウで、内容を確認して [同意する] オプションをクリックします。
7. [確認] ウィンドウで、[プラグイン アクションを実行する前に OpenManage Enterprise アプライアンスのスナップショットを取得したことに同意する] オプションを選択してから、[アップデート] をクリックします。
OpenManage Enterprise を使用しているユーザーの数と OpenManage Enterprise で実行されているジョブに関する詳細が表示されます。

Power Manager をアップデートした後で、[コンソールとプラグイン] ページの [Power Manager] セクションにバージョンが表示されます。

Redfish 対応のデバイスとグループのリストを表示するには、OpenManage Enterprise で [インベントリの実行] をクリックし、[Power Manager デバイス] ページの [Power Manager 機能の更新] オプションをクリックします。

Identifier	GUID-A5DDCEC9-AA7C-404B-BD40-F8B766A4B693
Version	6
Status	Translation approved

よくあるお問い合わせ (FAQ)

メトリックを表示できないのはなぜですか？

[原因]: 必要な iDRAC または DC ライセンス、または OpenManage Enterprise Advanced Feature ライセンスを削除すると、ユーザーインターフェイス (UI) でライセンスに依存した機能は使用できません。このため、メトリックは使用できず、次のインベントリサイクルの Power Manager によって値が収集されません。

グラフの表示期間が変更されたときに、グラフに同じ日付の2つのエントリが表示されるのはなぜですか？

[原因]: 3 か月、6 か月、または1年間の [メトリックと監視履歴] のグラフを表示すると、データは UTC タイムゾーンから現在のタイムゾーンに自動変換されて表示されます。タイムゾーンの違いにより、グラフには同じ日に2つのエントリが表示されます。したがって、最後のエントリは現在の日付を示し、最後から2番目のエントリは前日を示します。

アラートしきい値セクションで電力と温度の値にわずかな変動があるのはなぜですか？

[原因]: 電力と温度の値が BTU/時と華氏で提供されている場合、それらはワットと摂氏に変換されます。値が表示されるとき、その値は再変換され、次に大きい値に丸められます。したがって、BTU/時および華氏の基準で表示した場合、値はわずかに高くなります。

レポート内のすべてのエントリに対して同じ数の電力上限またはしきい値違反があるのはなぜですか？

[原因]: 違反属性とタイムスタンプ属性で構成される組み込みレポートまたはカスタムレポートの場合、すべてのエントリに対して常に最新の値が表示されます。

レポートまたはメトリック グラフで総エネルギー消費量の空のエントリが表示されるのはなぜですか？

[原因]: [総エネルギー消費量] フィールドにサーバーおよび PowerEdge MX7000 デバイスのエントリがない理由は次のとおりです。

- エネルギー消費量の値は、2 番目のメトリック収集が行われるまで使用できません。
- [データ収集間隔] を 60 分に変更した場合、60 分間の [エネルギー消費量] の値を計算することはできません。これは、レポートのデータが1時間ごとに1日単位で収集される場合に発生します。
- 選択した期間中に iDRAC の電力メトリックがリセットされた場合、最新の読み取り値は最も古い読み取り値よりも低くなります。

デバイスのタイプによって、すべてのメトリックタイプが表示されないのはなぜですか？

[原因]: 異なるデバイスが、異なるタイプのメトリックをサポートしているためです。

表 21. サポートされているデバイスとメトリックのリスト

デバイスタイプ	サポートされているメトリック
第 12 世代 PowerEdge サーバー	● 最大、最小、平均電力 ● 最大、平均温度 ● システム エアフロー ● エネルギー消費量
第 13 世代および第 14 世代 PowerEdge サーバー	● 最大、最小、平均電力 ● 最大、平均温度 ● 最大、最小、平均 CPU 利用率 ● 最大、最小、平均入力出力の使用率 ● 最大、最小、平均メモリー使用率 ● システム エアフロー ● エネルギー消費量
PowerEdge M1000e、VRTX、FX2、FX2s シャーシ	● 最大、最小、平均電力 ● 瞬間温度 ● エネルギー消費量
PowerEdge MX7000 シャーシ	● 最大、最小電力 ● 最大、最小温度 ● エネルギー消費量

 **メモ:** モジュラー型サーバーは、[システム エアフロー] の値をサポートしていません。

また、すべての基準が満たされていても、[Power Manager] データを表示できない場合は、検出しているデバイスで [サーバーの電源監視] 機能が有効になっていることを確認します。デバイスの検出ログを表示するには、次のようにします。

1. OpenManage Enterprise で、[監視] > [ジョブ] の順にクリックします。

[ジョブ] ページが表示されます。

2. デバイスの検出タイプ ジョブを検索し、ジョブを選択します。

3. タブの右側にある [詳細の表示] をクリックします。

ジョブに関する詳細が表示されます。

[メッセージ :] セクションで、[サーバーの電源監視] 機能のステータスを確認します。

 **メモ:** [サーバーの電源監視] 機能が無効になっている場合、そのデバイスは [Power Manager] と互換性がありません。

監査ログに EPR の失敗が表示されるのに、デバイスに EPR が正常に適用されるのはなぜですか？

[原因]: 次の理由により、ターゲット デバイスへの EPR の適用できない場合があります。

- アプライアンスとターゲット デバイス間の接続の問題。
- ターゲット デバイスが、有効期限が切れたライセンスのある Power Manager の一部である場合。

監査ログに EPR の失敗が表示されるのに、グループに EPR が正常に適用されるのはなぜですか？

[原因]: EPR オプションがグループに適用されている場合、グループ内の少なくとも1つのデバイスに EPR オプションが正常に適用されると、グループレベルで EPR バナーが表示されます。ただし、接続の問題やライセンスの期限切れなどが原因で、グループ内の他のデバイスで EPR オプションにエラーが起こる場合があります。したがって、グループのすべてのデバイスに対して成功シナリオと失敗シナリオの EPR 監査ログを使用します。

デバイスが Power Manager に追加されていないのはなぜですか？

[原因]: 次の理由により、Power Manager で特定のデバイスを表示できません。

- デバイスに OpenManage Enterprise Advanced ライセンスがない場合
- OpenManage Enterprise でデバイスが検出され、Power Manager がインストールされている場合、OpenManage Enterprise で [インベントリを実行] を行うまで、デバイスは Power Manager に表示されません。
- スイッチ、ストレージ スレッド、I/O モジュールなどのデバイスは、Power Manager ではサポートされません。
- オペレーティング システム (インバンド) を通じて検出されたサーバーは、Power Manager ではサポートされません。

Power Manager をインストールできないのはなぜですか？

[原因]: Power Manager のインストールが失敗するケースが2つあります。

- OpenManage Enterprise でオンライン アップデート オプションを選択した場合は、オンライン パスの接続が成功したことを確認してください。
- OpenManage Enterprise でオフライン アップデート オプションを選択した場合は、`ome_powermanager_1.0.0.tar.gz` フォルダに、RPM を含む署名ファイルとプラグイン インストーラー パッケージを含むプラグイン カタログのすべてのファイルがあることを確認してください。カタログと tar ファイルが不整合の場合、インストールは失敗します。

Power Manager の無効化やアンインストールができないのはなぜですか？

[原因]: アクティブなポリシーまたは EPR オプションが有効になっている場合、Power Manager を無効にしたりアンインストールしたりすることはできません。

[解決方法]: アクティブなポリシーと EPR オプションを無効にしてから、Power Manager の無効化やアンインストールを試みてください。

削除、無効化、有効化のために選択したポリシーが多すぎる場合に、ポリシーが無効化されるのはなぜですか？

[原因]: 有効化、無効化、または削除のために複数のポリシーを選択すると、ジョブが開始されます。ただし、このポリシーは、アクションが完了するまでユーザー インターフェイス (UI) で無効になっています。ジョブが完了すると、これらのアクションの監査ログにエントリが表示されます。

Power Manager から一部のデバイスまたはグループを削除できないのはなぜですか？

[原因]: デバイスまたはグループに緊急時の電力削減 (EPR) オプションを適用している場合、そのデバイスまたはグループを Power Manager から削除することはできません。

[解決方法]: デバイスまたはグループの EPR オプションを無効にした後、Power Manager から削除します。

Power Manager が [コンソールとプラグイン] ページに表示されないのはなぜですか？

[原因]: 次の理由により、Power Manager がリストに表示されない場合があります。

- オフライン共有フォルダにアクセスできない
- Power Manager プラグインと tar フォルダがオフライン共有フォルダに存在しない。
- プラグイン カタログ ファイルを編集すると、署名ファイルが破損する可能性があります。

[解決方法]: 次のファイルを使用して、OpenManage Enterprise からオフライン共有フォルダにアクセスできることを確認します。

- ome_powermanager_1.0.0.tar.gz
- plugins_catalog
- plugins_catalog.json.asc

また、破損した plugins_catalog ファイルをダウンロードして置き換えます。

一部のデバイスまたはグループにポリシーを適用できないのはなぜですか？

[原因]: ポリシーは有効なライセンスを持つ Power Manager でサポートされ、Power Manager に追加されたデバイスにのみ適用できます。

ポリシーは、iDRAC Enterprise、PowerEdge FX2、FX2s、および CMC Enterprise ライセンスの VRTX シャーシを備えたサポート対象の PowerEdge サーバーに適用できます。

 **メモ:** PowerEdge M1000e および PowerEdge MX7000 シャーシでは、CMC Enterprise ライセンスは必要ありません。

一部のアラートが SNMP を使用して転送されないのはなぜですか？

[原因]: 次のイベントは SNMP アラートとして転送されません。

- デバイス メンバーシップまたはグループ メンバーシップの変更
- ライセンス ステータスの変更などのデバイス管理

アラートは、OpenManage Enterprise または Power Manager によって生成されます。これは、system health および metric/power configuration サブカテゴリに表示され、SNMP トラップ転送はサポートされていません。

一部の E メール アラートが転送されないのはなぜですか？

[原因]: 次のイベントは SNMP アラートとして転送されません。

- デバイス メンバーシップまたはグループ メンバーシップの変更。
- ライセンス ステータスの変更などのデバイス管理。

SNMP トラップ転送はサポートされていません。

一部のデバイスが Power Manager から自動的に削除されるのはなぜですか？

[原因]: 原因 : OpenManage Enterprise Advanced ライセンスの有効期限が切れているか、ターゲット ノードから削除されている場合、デバイス機能チェックの実行後にデバイスが Power Manager から削除されます。

一部のデバイスに温度メトリックが表示されないのはなぜですか？

[原因]: デバイスの電源がオフになっている場合、温度メトリックは表示されません。

特定の子グループを選択できないのはなぜですか？

[原因]: グループを選択すると、このグループ内のすべての子グループも選択されます。さらに、子グループを選択解除すると、その選択はメイン グループ レベルでも選択解除されます。

一部のデバイス メトリックについて、No Data Available または No Information available というメッセージが表示されるのはなぜですか？

[原因]: 最初のメトリック収集がまだ行われていないか、デバイスに到達できない場合は、次のメッセージが表示されます。 No Data Available

サポートされているデバイスであっても、デバイスが Power Manager に追加されていない場合は、「No Information available」というメッセージが表示されます。

レポートの一部のフィールドが空白になっているのはなぜですか？

[原因]: 次の理由により、レポートのフィールドが空白になる場合があります。

- その期間、デバイスに到達できなかった。
- そのデバイスにこのカテゴリーが適用されない。
- Power Manager の特定のフィールドに値が定義されておらず、これらのフィールドがレポートの一部になっている。

たとえば、デバイスの電力および温度しきい値を設定していない場合は、次のフィールドがレポートに追加されますが、値は入力されません。

- 上位警告電力
- 上位重要電力
- 下位重要温度
- 下位警告温度
- 上位警告温度
- 上位重要温度

上記のしきい値を設定していて、しきい値に違反している場合のみ、次のフィールドに値が入力され、レポートに表示されます。

- 下位重要違反数
- 下位警告違反数
- 上位重要違反数
- 上位警告違反数

メトリック グラフに定期的なメトリック データ ポイントが表示されないのはなぜですか？

[原因]: 不規則なメトリック ポイントがあるメトリック グラフは、その期間にそのデバイスのデータが収集されなかったことを示しています。

ポリシーのチェック ボックスをオフにできないのはなぜですか？

[原因]: ポリシーが有効化、無効化、または編集されている場合、[電力ポリシー] ページのポリシーのチェック ボックスは無効になります。ジョブが完了したら、ポリシーをオフにすることができます。

古いメトリック データを確認するにはどうすればよいですか？

[原因]: データが削除されるため、古いメトリック データは数日後に使用できなくなります。この構成は、[Power Manager の設定] セクションで使用可能な [Power Manager データの削除] オプションの選択によって異なります。

しきい値 REST API を使用して設定した値が構成されないのはなぜですか？

[原因]: デバイスを Power Manager にインストールして追加する前に、しきい値 REST API を使用すると、値は保持されません。

[解決方法]: デバイスを Power Manager にインストールして追加し、しきい値 REST API を使用します。

電力上限が Power Manager から削除されている場合、電力上限をデバイスから削除するには、どうすればよいですか？

[原因]: Power Manager を通じて電源ポリシーが静的グループに適用されていて、OpenManage Enterprise でその静的グループからメンバー デバイスが削除されており、そのポリシーがアクティブである場合、デバイスの電力上限はデバイスの管理コンソールに保持されます。

[解決方法]: デバイスの電力上限を削除するには、それぞれの管理コンソールにログインし、電力上限ポリシーを無効にします。

削除された物理グループの一部だったデバイスで EPR を削除するには、どうすればよいですか？

[原因]:

[解決方法]: 物理グループの一部であるデバイスのいずれかに、緊急時の電力削減(EPR)が適用されており、OpenManage Enterprise からその物理グループを削除した場合、EPR はそのデバイス上でアクティブなままになります。

[解決方法]: 物理グループの一部であるデバイスが OpenManage Enterprise で削除されていても、そのデバイスは Power Manager の一部のままです。デバイスで EPR を削除するには、次のようにします。

1. [Power Manager] > [緊急時の電力削減] をクリックします。

[緊急時の電力削減] タブが表示されます。

2. デバイスを選択し、[無効化] をクリックします。

Identifier	GUID-49586398-3F9B-42B9-BC23-233F91D08A23
Version	7
Status	Translation approved

トラブルシューティング

データ パージ間隔がリセットされない

[シナリオ]:

最新バージョンの Power Manager の再インストールまたはアップデート後に、データ パージ間隔がデフォルト値にリセットされません。

[解決策]:

Power Manager を再インストールまたは最新バージョンに更新した後、次の場所でデータパージ値をリセットします。

[OpenManage Enterprise] > [アプリケーション設定] > [コンソール環境設定] > [メトリックの収集設定]

Power Manager にデバイスを追加できない

[シナリオ]:

OpenManage Enterprise でデバイスを再検出した場合やインベントリ ジョブが進行中である場合に、次のエラー メッセージが表示されます。Value entered for id is invalid

[解決策]:

検出またはインベントリ ジョブの完了後に、Power Manager にデバイスを追加します。

緊急時の電力削減 (EPR) をターゲット デバイスまたはグループに適用できないのはなぜですか？

[シナリオ]:

EPR をデバイスに適用しようとする、EPR 操作が失敗して、**監査ログ**にエントリが存在する場合があります。

グループに EPR オプションを適用しようとする、EPR 操作が失敗し、次のエラー メッセージが表示される場合があります。The Emergency Power Reduction feature cannot be enabled on the group <group name> because either the member devices of the group cannot be accessed, do not have necessary license, or the Emergency Power Reduction (EPR) feature is already enabled.

[解決策]:

次の条件がすべて満たされていることを確認します。

- EPR の適用に適切なグループに少なくとも1つのデバイスがある
- [スロットル] オプションが次のデバイスに適用できる:
 - デバイスがサーバーで、iDRAC Enterprise ライセンスが適用されている場合
 - デバイスが PowerEdge M1000e または PowerEdge MX7000 シャーシの場合
- [シャットダウン] オプションはサーバーにのみ適用されます。

UI で電力および温度の単位が更新されない

[シナリオ]:

REST API を介して Power Manager の電力および温度の単位を変更し、単位の変更の更新内容を UI で確認すると、更新内容が UI に反映されていません。

[解決策]:

REST API を介して電力および温度の単位を変更した後、その更新内容を UI に表示するには、ブラウザを更新します。

プラグインのライフサイクル関連のアクション (インストール/アンインストール/有効化/無効化) を実行しようとする と、OpenManage Enterprise が応答しないのはなぜですか？

[シナリオ]:

OpenManage Enterprise アプライアンスを再起動した後、Power Manager のプラグイン ライフサイクル関連のアクションを実行しようすると、ジョブはバックエンドで開始されますが、**コンソールとプラグイン**のページが引き続き表示されます。また、しばらくすると、次のメッセージが表示されます。 `This page isn't working`

[解決策]:

しばらく待ってから、ステータスを確認します。プラグイン ライフサイクル関連のアクションが正常に完了します。

MX 7000 シャーシの電力上限値または割合が、いずれかの エントリが変更されても更新されない

[シナリオ]:

MX7000 シャーシで、電力上限値が上限値と同様に表示されます。電力上限の割合を手動で変更しても値が更新されず、値を変更しても割合が更新されません。

[解決策]:

電力上限値を入力して、ポリシーを保存します。このポリシーは、選択したデバイスまたはグループに指定された電力上限値を強制します。

アラートしきい値に対してイベントが生成されない

[シナリオ]:

次のような温度しきい値違反の組み合わせで、イベントが生成されません。

- 下位警告から上位警告
- 下位重要から上位重要
- 上位警告から下位警告
- 上位重要から下位重要

[解決策]:

温度変化の即時のアラートが発生しないように、実際の警告と重要な値を指定します。

REST API を使用してグループからデバイスを削除するときの エラー

[シナリオ]:

REST API を使用して複数のグループの一部であるデバイスを削除しようすると、エラー メッセージが表示されます。

[解決策]:

複数のグループに属しているデバイスを削除するには OpenManage Enterprise でグループからデバイスを削除します。変更は自動的に Power Manager に反映されます。

監査ログのグループ メンバーシップの変更に対する複数のアラート

[シナリオ]:

[監査ログ] で、グループ メンバーシップの変更の際に、複数のエントリが発生します。

[解決策]:

OpenManage Enterprise を使用して、デバイスが静的グループに同時に追加され、それらが削除されると、[監査ログ] と [アラートログ] にこのアップデートの複数のエントリが存在することになります。

物理グループを管理するための一部のオプションが表示されない

[シナリオ]:

物理グループの作成後、グループを右クリックしても、[新しい物理グループの作成]、[グループの編集]、[ラックの管理]、[グループの削除]、または [属性] オプションが表示されない場合があります。

[解決策]:

回避策として、しばらく待つか、ページを更新してから、グループを右クリックします。関連するすべてのオプションが表示されます。

Identifier	GUID-A63D06AF-2BCE-4007-AF3D-7B1637802936
Version	4
Status	Translation approved

付録

Power Manager の [個別のデバイス] タブで使用されるすべてのフィルターの詳細は次のとおりです。

- [正常性状態] は、デバイスの動作状態を示します。正常性ステータス (OK、重要、警告) は、それぞれの色の記号で識別されます。

表 22. OpenManage Enterprise におけるデバイスの正常性状態

正常性状態	定義
重要 	デバイスまたは環境の重要な側面において不具合が発生したことを示します。
警告 	デバイスは故障しそうです。デバイスまたは環境の一部の局面が正常でないことを示します。ただちに対処する必要があります。
OK 	デバイスは完全に機能しています。
不明 	デバイスのステータスが不明です。

- [電源状態] は、デバイスの電源がオンまたはオフになっていることを示します。
- [接続状態] は、デバイスが OpenManage Enterprise に接続されているかどうかを示します。
- [名前] はデバイス名を示します。
- [サービスタグ/識別子] は、デバイスの一意のコードを示します。
- [モデル] は、デバイス モデルを示します。
- [タイプ] は、デバイスのタイプ (サーバー シャーシ、Dell EMC ストレージ、ネットワーキング スイッチ) を示します。
- [管理状態] は、デバイスのオンボーディング ステータスを示します。
 - [エラー]: デバイスをオンボードできません。OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイドの推奨権限を使用してログインしてみてください。
 - [管理対象]: デバイスが正常にオンボードされ、OpenManage Enterprise コンソールによって管理できます。
 - [監視対象]: デバイスに管理オプション (SNMP を使用して検出されたオプションなど) がありません。
 - [アラートによる管理対象]: デバイスは正常にオンボードされ、OpenManage Enterprise コンソールは検出中にそのデバイスの IP アドレスをトラップの宛先として正常に登録しました。
 - **プロキシ使用**: MX7000 シャーシでのみ使用可能です。デバイスが MX7000 シャーシから検出され、直接検出されないことを示しています。
- [グループの一部] は、デバイスが Power Manager で監視されているグループの一部であるかどうかを示します。
- [状態] は、Power Manager ポリシーが有効または無効であることを示します。
- [説明] は、デバイス、ポリシー、またはジョブの説明を示します。
- [ホスト名] は、デバイスの一意の名前を示します。
- [タイプ] は、静電気または温度によってトリガーされるポリシーを示します。
- [割り当て先] は、ポリシーが割り当てられているデバイスを示します。
- [EPR ソース] は、ポリシーが手動で適用されるか、システムによってトリガーされるポリシーであるかを示します。
- [デバイスのサイズ (U)] は、デバイスが消費するラック スペースを示します。
- [推定最大電力 (W)] は、デバイスに定義されている最大電力を示します。

Identifier	GUID-7BF7584F-B52C-4A4F-8C8B-EE610DB2161E
Version	1
Status	Translation approved

その他の情報

本ガイドの他にも、次のドキュメントを利用できます。これらのドキュメントには、Dell EMC OpenManage Enterprise Power Manager およびその他の関連製品についての詳細情報が記載されています。

表 23. その他の情報

文書	説明	入手先
Dell EMC OpenManage Enterprise Power Manager リリース ノート	Power Manager の既知の問題とその回避策について記載されています。	1. Dell.com/OpenManageManuals にアクセスします。 2. [Dell OpenManage Enterprise] をクリックして、必要なバージョンの OpenManage Enterprise を選択します。 3. [マニュアルおよび文書] をクリックして、該当のドキュメントにアクセスします。
Dell EMC OpenManage Enterprise Power Manager REST API ガイド	Representational State Transfer (REST) API を使用した Power Manager の統合に関する情報、および一般的なタスクを実行するための REST API の使用例が記載されています。	
Dell EMC OpenManage Enterprise ユーザーズ ガイド	OpenManage Enterprise 機能の使用方法についての情報が記載されています。	
Dell EMC OpenManage Enterprise リリース ノート	OpenManage Enterprise の既知の問題とその回避策について記載されています。	
Dell EMC OpenManage Enterprise Support Matrix (Dell EMC OpenManage Enterprise サポートマトリックス)	OpenManage Enterprise がサポートするデバイスのリストです。	
Dell EMC OpenManage Enterprise and OpenManage Enterprise - Modular Edition RESTful API Guide (Dell EMC OpenManage Enterprise および OpenManage Enterprise - Modular エディション RESTful API ガイド)	Representational State Transfer (REST) API を使用した OpenManage Enterprise の統合に関する情報、および一般的なタスクを実行するための REST API の使用例が記載されています。	